

シラバス

科目名	ホスピタリティサービス		担当者名	池亀 満枝	
学 科	英語キャリア科		授業方法	講義	
認定単位	2単位	開講期		授業時間数	36時間
開講学年	1学年	必・選	必選		
授業目的	学生が社会に出る前に、社会が求めるコミュニケーションとは何かを理解させるとともに、社会で必要とされるマナーの基本知識を習得し、他者と相互に円滑な交流ができるように自然に適応できるようになることを目指す。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	良い人間関係を築くためのコミュニケーションのポイントに加え、社会人に必要なマナーの知識を確認し、それらの学習成果を評価・認定する資格検定の認定証を取得する。				
授業概要	受け継がれてきたしきたり、マナーの基礎知識を習得するとともに、コミュニケーションのスキルを身に付けることで、相手や状況に応じた適切な対応が自然にできるようにする。				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	ガイダンス	19	断りの丁寧な伝え方	
	2	コミュニケーション、マナーとは？ホスピタリティとは？	20	お詫びの丁寧な伝え方	
	3	自分を知る	21	違和感を与える表現・信頼感を損ねる口癖	
	4	表情と笑顔	22	食事の席での心得	
	5	姿勢	23	公共の場での振る舞い	
	6	服装と身だしなみ	24	訪問先でのマナー	
	7	態度や振る舞い	25	あらたまった席での振る舞い	
	8	傾聴のポイント	26	冠婚葬祭とは、冠婚葬祭の意味と行事	
	9	話し方	27	慶事のマナー	
	10	敬語の基本、種類	28	慶事のマナー	
	11	丁寧語・美化語・改まり語	29	祝儀・不祝儀袋	
	12	尊敬語	30	人生や季節のイベント	
	13	謙譲語 I	31	席次のルール	
	14	謙譲語 II	32	国際交流とプロトコール	
	15	試験	33	ビジネスマナーの基本	
	16	使い分け・誤用	34	試験	
	17	上手な気持ちの伝え方	35	試験解説	
18	依頼の丁寧な伝え方	36	まとめ		
成績割合	テスト	70%	学習FB方法	課題	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	%	成績評価	S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>80 R<<実働実践型学習>>10 A<<主体的参加型学習>>10 G<<海外体感型学習>>0				
講師プロフィール	官公庁、政府関係機関等にて役職者の秘書を長年務めた経験から現在に至る。				

シラバス

科目名	Grammar I		担当者名	鈴木良		
学 科	英語キャリア科		授業方法	講義		
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間	
授業目的	TOEIC Part 5, Part 6 の文法問題を解く上で必要な英文法を習得する。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	TOEIC Part 5, Part 6 における文法問題を理解し解けるようにする。 TOEIC 基本ボキャブラリー 400 を身につける。					
授業概要	英文法に関するドリル、練習問題、アクティビティーを行う。TOEIC に必要な単語小テストも行う。					
授 業 計 画 表	授 業 内 容			授 業 内 容		
	1	Common everyday objects word cards game、文型①	19	ボキャブラリー小テスト 3.1、動詞問題		
	2	文型②、ボキャブラリー 1.1 イントロ	20	ボキャブラリー小テスト 3.2、動詞問題・人称代名詞問題		
	3	ボキャブラリー小テスト 1.1、文型③	21	ボキャブラリー小テスト 3.3、動詞問題・人称代名詞問題		
	4	ボキャブラリー小テスト 1.2、文型④	22	ボキャブラリー小テスト 3.4、準動詞問題		
	5	ボキャブラリー小テスト 1.3、Memory game、名詞	23	ボキャブラリーまとめ小テスト 3.1-3.4、準動詞問題		
	6	ボキャブラリー小テスト 1.4、形容詞と副詞、品詞当てクイズ	24	ボキャブラリー小テスト 4.1、準動詞問題		
	7	ボキャブラリーまとめ小テスト 1.1-1.4、品詞当てクイズ	25	ボキャブラリー小テスト 4.2、準動詞問題・不定代名詞と数量を表す代名詞		
	8	品詞当てクイズ	26	ボキャブラリー小テスト 4.3、準動詞問題・不定代名詞と数量を表す代名詞		
	9	接尾辞小テスト①、品詞問題・前置詞問題・接続詞問題	27	ボキャブラリー小テスト 4.4、準動詞問題・不定代名詞と数量を表す代名詞		
	10	ボキャブラリー小テスト 2.1、品詞問題・前置詞問題・接続詞問題 (TOEIC テスト本)	28	接尾辞小テスト②、準動詞問題・不定代名詞と数量を表す代名詞		
	11	ボキャブラリー小テスト 2.2、品詞問題・前置詞問題・接続詞問題	29	ボキャブラリーまとめ小テスト 4.1-4.4、比較問題		
	12	ボキャブラリー小テスト 2.3、期末試験対策	30	比較問題		
	13	前期末試験	31	接尾辞小テスト③、比較問題(後期 TOEIC テスト本番)		
	14	ボキャブラリー小テスト 2.4、動詞問題	32	期末試験対策		
	15	ボキャブラリーまとめ小テスト 2.1-2.4、動詞問題	33	まとめ		
	16	まとめ	34	まとめ		
	17	まとめ	35	後期末試験		
18	まとめ	36	試験返却			
成 績 割 合	テスト	30%(学期末)、40%(ボキャブラリー小テスト)	学習FB方法	口頭		
	学習態度・出席率	30%				
	レポート	0%	成績評価	単語小テスト、宿題、定期試験(前期・後期)、平常点		
	合計	100%				
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>60% R<<実働実践型学習>>0% A<<主体的参加型学習>>60% G<<海外体感型学習>>100%					
講師プロフィール	TOEIC Listening & Reading テスト スコア990点取得、英検1級、中学校・高等学校教員免許(英語)取得					

シラバス

科目名	TOEIC I		担当者名	松井 佳子		
学 科	英語キャリア科		授業方法	講義		
認定単位 開講学年	1学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間	
授業目的	英検3級の勉強を通し、英語を理解し自信を持つこと。 しいては就職試験に役立て、成功体験が人生の道しるべになることを期待する。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	英検3級の取得					
授業概要	過去問を使って、単語力、Listening、Reading、Writing、Grammar力をつける。 (週1回 2時間X36回) 副教材 GRAMMAR CLINIC (南雲堂) 英検準2級 出る順パス単(旺文社)					
授 業 計 画 表	授 業 内 容			授 業 内 容		
	1	目標、成績のつけ方、小テストの説明英検3級の試験説明	19	小テストReading: 文型Listening 第2部		
	2	小テストReading Part.1&2 単語&会話文選択Listening 第1部	20	小テストReading: 文型Listening 第3部		
	3	小テスト Reading Be 動詞Listening 第2部	21	小テストReading: 比較級Listening 第1部		
	4	小テストReading Be 動詞Listening 第3部	22	小テストReading 比較級Listening 第2部		
	5	小テスト小テストReading Part:一般動詞Listening 第1部	23	小テストReading:比較級Listening 第3部		
	6	小テスト小テストReading:一般動詞listening 第2部	24	小テストReading:関係代名詞Listening 第1部		
	7	小テストReading:受動態Listening 第3部	25	小テストReading 関係代名詞Listening 第2部		
	8	小テスト小テストReading Part :受動態Listening 第1部	26	小テストReading:関係代名詞Listening 第3部		
	9	小テストReading:動名詞listening 第2部	27	小テストReading:現在完了Listening 第1部		
	10	小テストReading:動名詞listening 第3部	28	小テストReading 現在完了Listening 第2部		
	11	小テストReading 不定詞listening 第1部	29	小テストReading:現在完了Listening 第3部		
	12	小テストReading:不定詞Listening 第2部	30	小テストReading:接続詞Listening 第3部		
	13	小テストReading:不定詞Listening 第3部	31	小テストReading 仮定法Listening 1部		
	14	小テストReading 現在分詞Listening 第1部	32	小テストReading:仮定法Listening 第3部		
	15	小テストReading: 現在分詞Listening 第2部	33	小テストReading : 仮定法Listening 第1部		
	16	小テストReading:復習Listening 第3部	34	総復習		
	17	前期総復習	35	テスト		
18	Reading 文型Listening 第1部	36	成績発表まとめ意見交換			
成 績 割 合	テスト	前後期学期末テスト 各25点	学習FB方法	前期 後期 成績表を配布		
	学習態度・出席率	出席 授業態度 3級テストの結果 25点				
	レポート	小テスト課題提出 合わせて25点	成績評価	出席率80% 以上 S90-100点 A80-89点 B70-79点 C60-69点 D 59点以下は不合格		
	合計	100%				
P/R/A/C割合	P<<課題解決型学習>>80% R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>>80% G<<海外体験型学習>>					
講師プロフィール	日本航空国際客室乗員部7年勤務 本校にて講師17年					

シラバス

科目名	Current Events I		担当者名	G.McArdle		
学 科	英語キャリア科		授業方法	講義		
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	36時間	
授業目的	to gain a better understanding of the world by studying world news using English vocabulary					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	to develop the ability to empathize, discuss, and give opinions about current events					
授業概要	Breaking News English, discussions, debate, opinions					
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容		
	1	Breaking News English		19	Breaking News English	
	2	Breaking News English		20	Breaking News English	
	3	Breaking News English		21	Breaking News English	
	4	Breaking News English		22	Breaking News English	
	5	Breaking News English		23	Breaking News English	
	6	Breaking News English		24	Breaking News English	
	7	Breaking News English		25	Breaking News English	
	8	Breaking News English		26	Breaking News English	
	9	Breaking News English		27	Breaking News English	
	10	Breaking News English		28	Breaking News English	
	11	Breaking News English		29	Breaking News English	
	12	Breaking News English		30	Breaking News English	
	13	Breaking News English		31	Breaking News English	
	14	Breaking News English		32	Breaking News English	
	15	Breaking News English		33	Breaking News English	
	16	Breaking News English		34	Breaking News English	
	17	Breaking News English		35	Breaking News English	
	18	Breaking News English		36	Breaking News English	
成績割合	テスト		学習FB方法	Grades are given at the end of the semester. 成績は学期の終わりに提出されます。 S = 100%-90%, A = 89%-80%, B = 79%-70%, C = 69%-60%, 落第 = 59%-下		
	学習態度・出席率 50%					
	レポート 50%		成績評価			
	合計 100%					
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>20 R<<実働実践型学習>>30 A<<主体的参加型学習>>20 G<<海外体感型学習>>30					
講師プロフィール	Very Experienced teacher has worked for many schools in Tokyo, and Kanto district.					

シラバス

科目名	基礎ゼミ		担当者名	金田一 栄子	
学 科	英語キャリア科		授業方法	ゼミ	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開 講 期 必・選	必修	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	観光業界の現状を理解し、これからの観光業界のあり方を考える。 また、グループワークを通じて、ゴールに向けて仲間と協働することで、主体性やコミュニケーション力、協働力を養うとともに、自身の卒業ビジョンのステージを想像する力を養う。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	地域の現状を理解し、その中で課題を考え、その解決策をグループで力を合わせて考え提案する。				
授業概要	千葉県の成田山新勝寺を取り上げる。フィールドワークや資料からその観光地の現状を把握し、課題を設定しその活性化プランを考案する。その過程でフィールドワークの手法、データの取得と利用法を学ぶ。また他の地域の活性化例にも学ぶ。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション、チームビルディング	19	課題の確認と参道活性化プラン考案	
	2	フィールドワーク計画作成	20	プランの具体化	
	3	フィールドワーク①(終日)	21	プランの具体化	
	4	フィールドワークまとめ	22	プラン検討	
	5	観光概論旅行動向(データの見方)	23	検証フィールドワークに向けての現地での調査事項立案	
	6	観光概論インバウンド	24	フィールドワーク③	
	7	観光概論オーバーツーリズム	25	問題点の整理とプランの見直し	
	8	地域活性化とは	26	中環発表準備	
	9	地域活性化事例研究	27	中間発表	
	10	地域活性化事例研究	28	修正	
	11	地域活性化事例研究	29	最終発表準備	
	12	成田研究(新勝寺参道の観光実態の分析)	30	最終発表準備	
	13	成田研究(成田広域にも視点を向ける)	31	最終発表準備	
	14	成田研究(フィールドワーク②に向けて調査事項の決定)	32	最終発表準備	
	15	フィールドワーク②	33	リハーサル	
	16	フィールドワークのまとめと問題点の整理	34	修正	
	17	課題の抽出	35	最終発表	
18	中間発表	36	振り返り、まとめ		
成績割合	テスト	%	学習FB方法	前期、後期成績表配布 出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート	50%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50 R<<実働実践型学習>>50 A<<主体的参加型学習>>50 G<<海外体感型学習>>20				
講師プロフィール	旅行会社でカウンター、営業、添乗、業務渡航など多岐に渡る業務を経験後、旅行分野、観光英語等で長い指導歴を持ちます。2002年から観光英検問題作成委員。				

シラバス

科目名	パソコン実習 I		担当者名	千葉 輝子	
学 科	英語キャリア科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	PC及びWordの基本操作、タイピング力を身に付ける				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	ビジネス文書を効率良く作成できるようになることを目標とし、日商PC検定 文書作成3級に合格相当のスキルを身に付ける。				
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・毎授業、タイピング練習の実施(各自目標を設定する) ・ビジネス文書及びビジネスメールの書き方(ルールの理解) ・検定試験の問題を課題に取り入れることにより、既存の文書の編集力も身に付ける ・定期試験に、実技だけでなく知識(ビジネス用語)も取り入れ、一般常識も身に付ける 				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	ガイダンス	19	図の挿入/図形の描画	
	2	ガイダンス	20	ビジネス文書課題(表と図のあるビジネス文書)	
	3	ガイダンス	21	ビジネス文書課題(表と図のあるビジネス文書)	
	4	科目ガイダンス各自のPC環境整備	22	ビジネス文書課題(表と図のあるビジネス文書)	
	5	Windowsの基本操作/タイピング練習文字入力の基本	23	ビジネス文書課題(表と図のあるビジネス文書)	
	6	文字入力の基本	24	日商PC検定文書作成検定 試験問題1	
	7	ビジネス文書の書き方(ルールの説明)	25	日商PC検定文書作成検定 試験問題2	
	8	ビジネス文書課題(表のないビジネス文書)	26	日商PC検定文書作成検定 試験問題3	
	9	ビジネス文書課題(表のないビジネス文書)	27	日商PC検定文書作成検定 試験問題4	
	10	ビジネス文書課題(表のないビジネス文書)	28	日商PC検定文書作成検定 試験問題5	
	11	ビジネスメール課題	29	日商PC検定文書作成検定 模擬問題1	
	12	表作成の基本	30	日商PC検定文書作成検定 模擬問題2	
	13	ビジネス文書課題(表のある文書)	31	後期復習問題	
	14	ビジネス文書課題(表のある文書)	32	期末試験	
	15	ビジネス文書課題(表のある文書)	33	期末試験の解答解説及び後期振り返り	
	16	ビジネス文書課題(表のある文書)	34	ガイダンス	
	17	前期期末試験	35	ガイダンス	
18	前期期末試験の解答解説	36	ガイダンス		
成績割合	テスト	70%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート		成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59 点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>>0% A<<主体的参加型学習>>50% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	電子部品商社に入社し国内営業アシスタントとして、商品の入出庫管理、見積書作成、売上の月次処理などの業務を担当。その後、大手特約代理店に転職し、パソコン教室の講師及び、テキスト作成、受付業務を担当。現在はフリーランスとして、新入社員研修を含む企業研修も担当している。				

シラバス

科目名	Business Conversation I		担当者名	G.McArdle		
学 科	英語キャリア科		授業方法	講義		
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	36時間	
授業目的	learn how to speak in business environment					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	develop the ability to speak in a business environment					
授業概要	business vocabulary, grammar, email, phone, professional speech, interviews Textbook : English at Work 3 Student Book with MP3 Audio (Cengage Learning)					
授業計画表	授業内容			授業内容		
	1	icebreakers	19	unit 6		
	2	unit 1	20	unit 7		
	3	unit 1	21	unit 7		
	4	unit 1	22	unit 7		
	5	unit 2	23	unit 8		
	6	unit 2	24	unit 8		
	7	unit 2	25	unit 8		
	8	unit 3	26	unit 9		
	9	unit 3	27	unit 9		
	10	unit 3	28	unit 9		
	11	unit 4	29	unit 10		
	12	unit 4	30	unit 10		
	13	unit 4	31	unit 10		
	14	unit 5	32	unit 11		
	15	unit 5	33	unit 11		
	16	unit 5	34	unit 11		
	17	unit 6	35	unit 12		
18	unit 6	36	unit 12			
成績割合	テスト	%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付		
	学習態度・出席率	50%				
	レポート	50%	成績評価	出席率80%以上 S:90~100点 A:80~89点 B:70~79点 C:60~69点		
	合計	100%				
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>20% R<実働実践型学習>30% A<主体的参加型学習>20% G<海外体感型学習>30%					
講師プロフィール	Very Experienced teacher has worked for many schools in Tokyo, and Kanto district.					

シラバス

科目名	接遇手話 I		担当者名	小川 奈緒子			
学 科	英語キャリア科		授業方法	実習			
認定単位 開講学年	1単位 1学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	36時間		
授業目的	①聴覚障がいについて理解する。 ②手話の基本を学ぶ。 ③社会的マイノリティの理解を深める。						
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	聴覚障がいの基礎知識を学び、理解する。簡単な自己紹介・会話の取得。						
授業概要	聴覚障がいの基礎知識・コミュニケーション手段などの座学。 簡単な自己紹介・日常会話の実技。 聴覚障がいゲスト講師との交流。						
授業計画表	授業内容			授業内容			
	1	ガイダンス・導入	19	疑問詞(だれ・なぜ・どちら・いくつ)			
	2	伝える工夫(コミュニケーション方法・挨拶の手話)	20	疑問詞のまとめ(疑問詞を使った文章表現)			
	3	手話の基本(指文字・挨拶・出来る/出来ない)	21	時制(1日・1週間の生活)/都道府県名			
	4	手話の基本(指文字・名前・学校名・好き/嫌い)	22	時制(四季・1年の生活)/都道府県名			
	5	手話の基本(数の表現・疑問詞の使い方)	23	聴覚障がいと福祉制度/接遇手話の簡単な例文練習			
	6	自己紹介(住所・出身地・県名・国名 含む)	24	ゲスト授業事前学習(ろう文化等)/接遇手話の練習			
	7	自己紹介(人物・家族の表現)	25	ゲスト講師(聴覚障がい者)を招いて			
	8	自己紹介(誕生日・数字・時の表現)	26	聴覚障がいの特性理解・先週の感想等の共有			
	9	自己紹介(趣味の表現)	27	後期の復習/手話ソング(X'masソング)検定対策			
	10	自己紹介(職業などの表現)	28	時節の手話(お正月に関する単語・例文)検定対策			
	11	夏休み前 自己紹介の総復習・質疑応答	29	後期の復習/ 動画の読み取り検定対策			
	12	夏休み前 自己紹介の総復習・表出の小テスト	30	時節の手話(お正月に関する単語・例文)検定対策			
	13	夏休み前 自己紹介の総復習・読み取りの小テスト	31	学年末試験(表出試験)			
	14	前期末試験前の総復習・質疑応答	32	学年末試験(読み取り試験)			
	15	前期末試験(自己紹介の表出試験)	33	学年末試験返却/解説			
	16	前期末試験(読み取り/筆記試験)	34				
	17	試験の返却/解説(前期の振り返り)	35				
18	疑問詞(だれ・なぜ・どちら・いくつ)	36					
成績割合	テスト	60%	学習FB方法	使用教材:「豊かなコミュニケーション」(NPO法人 東京都中途失聴・難聴者協会 発行)			
	学習態度・出席率	30%					
	レポート	10%	成績評価			出席率80%以上 S…90~100点 A…80~89点 B…70~79点 C…60~69点 D… 59点以下不合格	
	合計	100%					
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>10% R<<実働実践型学習>>40% A<<主体的参加型学習>>40% G<<海外体感型学習>>10%						
講師プロフィール	手話通訳士として、講義・講演会・会議・その他生活一般での手話通訳活動や手話指導を通して、日々の研鑽、経験を授業に活かすことを旨としている。						

シラバス

科目名	ITリテラシー		担当者名	千葉 輝子		
学 科	英語キャリア科		授業方法	実習		
認定単位	2単位	開 講 期		授 業 時 間 数	72時間	
開講学年	1学年	必・選	必選			
授業目的	トラブルに巻き込まれない、トラブルを起こさない人材の育成					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	ITリテラシーを身につけ、情報の取捨選択ができるようになる。 ビジネスコンプライアンス検定を受験できる知識を身につける					
授業概要	情報リテラシー 情報を正し使うための能力 ネットワークリテラシー ネットワークやセキュリティに関する知識 コンピュータリテラシー パソコンやスマホなどのツールを使いこなす能力 上記を身につける					
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容		
	1	ガイダンス	19	コンプライアンスの基本		
	2	ガイダンス	20	コンプライアンスの基本		
	3	ガイダンス	21	コンプライアンスの基本		
	4	科目ガイダンス	22	コンプライアンスの基本		
	5	情報社会のモラルとセキュリティ	23	コンプライアンスの基本		
	6	個人情報の適切な取り扱い	24	企業活動における基本法令		
	7	個人情報の適切な取り扱い	25	企業活動における基本法令		
	8	デジタル時代の著作権	26	企業活動における基本法令		
	9	デジタル時代の著作権	27	消費者とコンプライアンス		
	10	デジタル時代の著作権	28	情報セキュリティとコンプライアンス		
	11	ネット社会に潜む危険と対策	29	情報セキュリティとコンプライアンス		
	12	ネット社会に潜む危険と対策	30	ビジネスコンプライアンス検定過去問題		
	13	ネット社会に潜む危険と対策	31	ビジネスコンプライアンス検定過去問題		
	14	Webによるコミュニケーション	32	ビジネスコンプライアンス検定過去問題		
	15	Webによるコミュニケーション	33	学年末試験		
	16	モバイル機器の活用と管理	34	ガイダンス		
	17	モバイル機器の活用と管理	35	ガイダンス		
18	前期期末試験	36	ガイダンス			
成績割合	テスト	70%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付		
	学習態度・出席率	30%				
	レポート		成績評価	S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
	合計	100%				
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>>50% G<<海外体感型学習>>					
講師プロフィール	電子部品商社に入社し国内営業アシスタントとして、商品の入在庫管理、見積書作成、売上の月次処理などの業務を担当。 その後、大手特約代理店に転職し、パソコン教室の講師及び、テキスト作成、受付業務を担当。 現在はフリーランスとして、新入社員研修を含む企業研修も担当している。					

シラバス

科目名	Writing I		担当者名	P.Ripley	
学 科	英語キャリア科		授業方法	講義	
認定単位	2単位	開講期		授業時間数	36時間
開講学年	1学年	必・選	必選		
授業目的	to gain a better understanding of the world by studying world news using English vocabulary				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	to develop the ability to empathize, discuss, and give opinions about current events				
授業概要	Breaking News English, discussions, debate, opinions				
授業計画表		授業内容			授業内容
	1	Breaking News English		19	Breaking News English
	2	Breaking News English		20	Breaking News English
	3	Breaking News English		21	Breaking News English
	4	Breaking News English		22	Breaking News English
	5	Breaking News English		23	Breaking News English
	6	Breaking News English		24	Breaking News English
	7	Breaking News English		25	Breaking News English
	8	Breaking News English		26	Breaking News English
	9	Breaking News English		27	Breaking News English
	10	Breaking News English		28	Breaking News English
	11	Breaking News English		29	Breaking News English
	12	Breaking News English		30	Breaking News English
	13	Breaking News English		31	Breaking News English
	14	Breaking News English		32	Breaking News English
	15	Breaking News English		33	Breaking News English
	16	Breaking News English		34	Breaking News English
	17	Breaking News English		35	Breaking News English
	18	Breaking News English		36	Breaking News English
成績割合	テスト		学習FB方法	Grades are given at the end of the semester. 成績は学期の終わりに提出されます。 S = 100%-90%, A = 89%-80%, B = 79%-70%, C = 69%-60%, 落第 = 59%-下	
	学習態度・出席率 50%				
	レポート 50%		成績評価		
	合計 100%				
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>20 R<<実働実践型学習>>30 A<<主体的参加型学習>>20 G<<海外体感型学習>>30				
講師プロフィール	Very Experienced teacher has worked for many schools in Tokyo, and Kanto district.				

シラバス

科目名	Reading I		担当者名	G.McArdle	
学 科	英語キャリア科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	36時間
授業目的	to gain a better understanding of the world by studying world news using English vocabulary				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	to develop the ability to empathize, discuss, and give opinions about current events				
授業概要	Breaking News English, discussions, debate, opinions				
授業計画表		授業内容			授業内容
	1	Breaking News English		19	Breaking News English
	2	Breaking News English		20	Breaking News English
	3	Breaking News English		21	Breaking News English
	4	Breaking News English		22	Breaking News English
	5	Breaking News English		23	Breaking News English
	6	Breaking News English		24	Breaking News English
	7	Breaking News English		25	Breaking News English
	8	Breaking News English		26	Breaking News English
	9	Breaking News English		27	Breaking News English
	10	Breaking News English		28	Breaking News English
	11	Breaking News English		29	Breaking News English
	12	Breaking News English		30	Breaking News English
	13	Breaking News English		31	Breaking News English
	14	Breaking News English		32	Breaking News English
	15	Breaking News English		33	Breaking News English
	16	Breaking News English		34	Breaking News English
	17	Breaking News English		35	Breaking News English
	18	Breaking News English		36	Breaking News English
成績割合	テスト		学習FB方法	Grades are given at the end of the semester. 成績は学期の終わりに提出されます。 S = 100%-90%, A = 89%-80%, B = 79%-70%, C = 69%-60%, 落第 = 59%-下	
	学習態度・出席率 50%				
	レポート 50%		成績評価		
	合計 100%				
P/R/A/C割合	P<<課題解決型学習>>20 R<<実働実践型学習>>30 A<<主体的参加型学習>>20 G<<海外体感型学習>>30				
講師プロフィール	Very Experienced teacher has worked for many schools in Tokyo, and Kanto district.				

シラバス

科目名	Geography I		担当者名	金田一 栄子		
学 科	英語キャリア科		授業方法	講義		
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	36時間	
授業目的	国内の観光地や文化への理解を深める。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	国内の観光地、伝統文化、郷土料理、その他の観光事情などについて知識を身につけ、日本の魅力を伝えられるようになる。					
授業概要	旅に出たくなる地図 日本(帝国書院)。国内観光資源(JTB総合研究所)を使用。地図で確認しながら、基本的な事項を学ぶ。またインバウンド観光客に人気のある場所などについて、個人、グループワークを行い、その発表を行う。プランニングも行う。					
授業計画表	授業内容			授業内容		
	1	授業の概要と地図の使い方	19	京都・大阪・神戸		
	2	47都道府県と県庁所在地	20	三都プランニング		
	3	地元自慢	21	三都プランニング		
	4	北海道	22	近畿1(奈良・三重・和歌山)		
	5	東北地方6県	23	近畿2(兵庫・滋賀)		
	6	北海道・東北地方研究	24	中国1(広島・岡山)		
	7	北関東(茨城・栃木・群馬)	25	中国2(鳥取・島根・山口)		
	8	南関東(千葉・埼玉・神奈川)	26	四国地方 4県		
	9	東京	27	瀬戸内海の島々		
	10	伊豆・箱根	28	九州1(福岡・長崎・佐賀)		
	11	関東地方プランニング	29	九州2(宮崎・大分・熊本・鹿児島)		
	12	関東地方プランニング	30	沖縄		
	13	中部1(山梨・新潟)	31	九州・沖縄プランニング		
	14	中部2(長野・岐阜)	32	テーマ別研究		
	15	中部3(福井・石川・富山)	33	テーマ別研究		
	16	中部4(愛知・静岡)	34	テーマ別研究		
	17	中部地方プランニング	35	プレゼンテーション		
18	確認テスト	36	確認テスト・まとめ			
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	前期末・後期末 成績表を配布 出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格		
	学習態度・出席率	30%				
	レポート	30%	成績評価			
	合計	100%				
P/R/A/C割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>>50% G<<海外体感型学習>>					
講師プロフィール	旅行会社でカウンター、営業、添乗、業務渡航など多岐に渡る業務を経験後、旅行分野、観光英語等で長い指導歴を持ちます。2002年から観光英検問題作成委員。					

シラバス

科目名	Listening I		担当者名	G.McArdle	
学 科	英語キャリア科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	36時間
授業目的	to gain a better understanding of the world by studying world news using English vocabulary				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	to develop the ability to empathize, discuss, and give opinions about current events				
授業概要	Breaking News English, discussions, debate, opinions				
授業計画表		授業内容			授業内容
	1	Breaking News English		19	Breaking News English
	2	Breaking News English		20	Breaking News English
	3	Breaking News English		21	Breaking News English
	4	Breaking News English		22	Breaking News English
	5	Breaking News English		23	Breaking News English
	6	Breaking News English		24	Breaking News English
	7	Breaking News English		25	Breaking News English
	8	Breaking News English		26	Breaking News English
	9	Breaking News English		27	Breaking News English
	10	Breaking News English		28	Breaking News English
	11	Breaking News English		29	Breaking News English
	12	Breaking News English		30	Breaking News English
	13	Breaking News English		31	Breaking News English
	14	Breaking News English		32	Breaking News English
	15	Breaking News English		33	Breaking News English
	16	Breaking News English		34	Breaking News English
	17	Breaking News English		35	Breaking News English
	18	Breaking News English		36	Breaking News English
成績割合	テスト		学習FB方法	Grades are given at the end of the semester. 成績は学期の終わりに提出されます。 S = 100%-90%, A = 89%-80%, B = 79%-70%, C = 69%-60%, 落第 = 59%-下	
	学習態度・出席率 50%				
	レポート 50%		成績評価		
	合計 100%				
P/R/A/C割合	P<<課題解決型学習>>20 R<<実働実践型学習>>30 A<<主体的参加型学習>>20 G<<海外体感型学習>>30				
講師プロフィール	Very Experienced teacher has worked for many schools in Tokyo, and Kanto district.				

シラバス

科目名	検定英語(C)		担当者名	松井 佳子		
学 科	英語キャリア科		授業方法	講義		
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	72時間	
授業目的	英検3級の勉強を通し、英語を理解し自信を持つこと。 しいては就職試験に役立て、成功体験が人生の道しるべになることを期待する。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	英検3級の取得					
授業概要	過去問を使って、単語力、Listening、Reading、Writing、Grammar力をつける。 (週1回 2時間X36回) 副教材 GRAMMAR CLINIC (南雲堂) 英検準2級 出る順パス単(旺文社)					
授業計画表	授業内容			授業内容		
	1	目標、成績のつけ方、小テストの説明英検3級の試験説明	19	小テストReading: 文型Listening 第2部		
	2	小テストReading Part.1&2 単語&会話文選択Listening 第1部	20	小テストReading: 文型Listening 第3部		
	3	小テスト Reading Be 動詞Listening 第2部	21	小テストReading: 比較級Listening 第1部		
	4	小テストReading Be 動詞Listening 第3部	22	小テストReading 比較級Listening 第2部		
	5	小テスト小テストReading Part:一般動詞Listening 第1部	23	小テストReading:比較級Listening 第3部		
	6	小テスト小テストReading:一般動詞listening 第2部	24	小テストReading:関係代名詞Listening 第1部		
	7	小テストReading:受動態Listening 第3部	25	小テストReading 関係代名詞Listening 第2部		
	8	小テスト小テストReading Part :受動態Listening 第1部	26	小テストReading:関係代名詞Listening 第3部		
	9	小テストReading:動名詞listening 第2部	27	小テストReading:現在完了Listening 第1部		
	10	小テストReading:動名詞listening 第3部	28	小テストReading 現在完了Listening 第2部		
	11	小テストReading 不定詞listening 第1部	29	小テストReading:現在完了Listening 第3部		
	12	小テストReading:不定詞Listening 第2部	30	小テストReading:接続詞Listening 第3部		
	13	小テストReading:不定詞Listening 第3部	31	小テストReading 仮定法Listening 1部		
	14	小テストReading 現在分詞Listening 第1部	32	小テストReading:仮定法Listening 第3部		
	15	小テストReading: 現在分詞Listening 第2部	33	小テストReading : 仮定法Listening 第1部		
	16	小テストReading:復習Listening 第3部	34	総復習		
	17	前期総復習	35	テスト		
18	Reading 文型Listening 第1部	36	成績発表まとめ意見交換			
成績割合	テスト	前後期学期末テスト 各25点	学習FB方法	前期 後期 成績表を配布		
	学習態度・出席率	出席 授業態度 3級テストの結果 25点				
	レポート	小テスト課題提出 合わせて25点	成績評価	出席率80% 以上 S90-100点 A80-89点 B70-79点 C60-69点 D 59点以下は不合格		
	合計	100%				
P/R/A/C割合	P<<課題解決型学習>>80% R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>>80% G<<海外体験型学習>>					
講師プロフィール	日本航空国際客室乗員部7年勤務 本校にて講師17年					

シラバス

科目名	観光英語(A)		担当者名	松井 佳子	
学 科	英語キャリア科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	Inboundの観光客需要が高まる中、海外旅行のみならず国内でも自信をもって英語を使えるようする。異文化を学び、広い視野でコミュニケーションを図れるようにする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	観光英検3級取得				
授業概要	観光英検は英語力に加え、国外・国内の地理知識も必須です。観光旅行に必要な単語・文章を、リスニング、リーディング、スピーキングの角度から過去問を中心に学んでいきます。 後期授業は国内観光、ホテル、飲食業などで必要な英語をロールプレイをしながら学んでいきます。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	授業目標、内容、観光英検、小テスト、課題、成績のつけ方の説明	19	3級単語テストReading & Listening section	
	2	Travel	20	観光英検テスト終了後、Listening & 会話を重視した内容とする	
	3	小テスト観光業界の様々な職業を学ぶ	21	小テストImmigration customs	
	4	小テストAirline counter での check in/Fright attendantの仕事空港内の説明	22	小テストSan Franciscoをめぐる	
	5	小テストImmigration Customs	23	小テスト食事の注文	
	6	小テスト到着時の空港routine Take a bus from the airport Lost and found	24	小テストAt the fast food	
	7	小テストHotel Check in B&B	25	小テストお土産を選ぶ	
	8	小テストBreakfast	26	小テスト靴屋での会話	
	9	小テストMoney exchange Tourを申し込むBroushureを読みとく	27	小テスト道案内	
	10	小テストShopping Souvenirs and omiyage	28	小テストgetting to a Hotel	
	11	小テストTrain Bus Plane Buy a ticket Time table	29	小テスト公共交通機関	
	12	小テストBaggage missing Problems in the hotel room 様々なtrouble	30	小テスト電車の切符を買う	
	13	小テスト世界の首都 観光名所	31	Hotel reservation	
	14	お祭り伝統的なものや文化の英語表現	32	小テスト Hotel service	
	15	3級単語テストReading & Listening section	33	小テストLost baggage 機内放送	
	16	3級単語テストReading & Listening section	34	学年末テストに向けての確認作業	
	17	前期のまとめ	35	テスト	
18	3級単語テストReading & Listening section	36	成績発表1年の総復習		
成績割合	テスト	前後期学期末テスト 各25点		学習FB方法	前期、後期 成績表を配布
	学習態度・出席率	出席 授業態度 観光英検の結果 25点			
	レポート	小テスト 課題提出 合わせて25点		成績評価	出席率80%以上 S90点-100点 A89-80点 B70点-79点 C60点-69点 D59点以下は不合格
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>80% R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>>80% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	日本航空客室国際客室乗員部7年勤務 本校にて17年勤務				

シラバス

科目名	観光英語(B)		担当者名	山下るみ	
学 科	英語キャリア科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	Inboundの観光客需要が高まる中、海外旅行のみならず国内でも自信をもって英語を使えるようする。異文化を学び、広い視野でコミュニケーションを図れるようにする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	観光英検3級取得				
授業概要	観光英検は英語力に加え、国外・国内の地理知識も必須です。観光旅行に必要な単語・文章を、リスニング、リーディング、スピーキングの角度から過去問を中心に学んでいきます。 後期授業は国内観光、ホテル、飲食業などで必要な英語をロールプレイをしながら学んでいきます。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	授業目標、内容、観光英検、小テスト、課題、成績のつけ方の説明	19	3級単語テストReading & Listening section	
	2	Travel	20	観光英検テスト終了後、Listening & 会話を重視した内容とする	
	3	小テスト観光業界の様々な職業を学ぶ	21	小テストImmigration customs	
	4	小テストAirline counter での check in/Fright attendantの仕事空港内の説明	22	小テストSan Franciscoをめぐる	
	5	小テストImmigration Customs	23	小テスト食事の注文	
	6	小テスト到着時の空港routine Take a bus from the airport Lost and found	24	小テストAt the fast food	
	7	小テストHotel Check in B&B	25	小テストお土産を選ぶ	
	8	小テストBreakfast	26	小テスト靴屋での会話	
	9	小テストMoney exchange Tourを申し込むBroushureを読みとく	27	小テスト道案内	
	10	小テストShopping Souvenirs and omiyage	28	小テストgetting to a Hotel	
	11	小テストTrain Bus Plane Buy a ticket Time table	29	小テスト公共交通機関	
	12	小テストBaggage missing Problems in the hotel room 様々なtrouble	30	小テスト電車の切符を買う	
	13	小テスト世界の首都 観光名所	31	Hotel reservation	
	14	お祭り伝統的なものや文化の英語表現	32	小テスト Hotel service	
	15	3級単語テストReading & Listening section	33	小テストLost baggage 機内放送	
	16	3級単語テストReading & Listening section	34	学年末テストに向けての確認作業	
	17	前期のまとめ	35	テスト	
18	3級単語テストReading & Listening section	36	成績発表1年の総復習		
成績割合	テスト	前後期学期末テスト 各25点		学習FB方法	前期、後期 成績表を配布
	学習態度・出席率	出席 授業態度 観光英検の結果 25点			
	レポート	小テスト 課題提出 合わせて25点		成績評価	出席率80%以上 S90点-100点 A89-80点 B70点-79点 C60点-69点 D59点以下は不合格
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>80% R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>>80% G<<海外体験型学習>>				
講師プロフィール	幼少の頃よりオーストラリアと日本を行き来し、双方の学校に通う。上智大学でジャーナリズム専攻。本校英語講師10年目、その前には幼児英語教育に携わっていました。				

シラバス

科目名	観光英語(C)		担当者名	岡崎 志織	
学 科	英語キャリア科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	36時間
授業目的	Inbound旅行者の需要が高まる中、海外旅行のみならず国内でも自信をもって英語を使えるようする。異文化を学び、広い視野でコミュニケーションを図れるようにする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	観光英検3級取得				
授業概要	観光英検は英語力に加え、国外・国内の地理知識も必須です。観光旅行に必要な単語・文章を、リスニング、リーディング、スピーキングの角度から過去問を中心に学んでいきます。 後期授業は国内観光、ホテル、飲食業などで必要な英語をロールプレイをしながら学んでいきます。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	授業目標、内容、観光英検、小テスト、課題、成績のつけ方の説明	19	3級単語テストReading & Listening section	
	2	Travel	20	観光英検テスト終了後、Listening & 会話を重視した内容とする	
	3	小テスト観光業界の様々な職業を学ぶ	21	小テストImmigration customs	
	4	小テストAirline counter での check in/Fright attendantの仕事空港内の説明	22	小テストSan Franciscoをめぐる	
	5	小テストImmigration Customs	23	小テスト食事の注文	
	6	小テスト到着時の空港routine Take a bus from the airport Lost and found	24	小テストAt the fast food	
	7	小テストHotel Check in B&B	25	小テストお土産を選ぶ	
	8	小テストBreakfast	26	小テスト靴屋での会話	
	9	小テストMoney exchange Tour を申し込むBroushureを読みとく	27	小テスト道案内	
	10	小テストShopping Souvenirs and omiyage	28	小テストgetting to a Hotel	
	11	小テストTrain Bus Plane Buy a ticket Time table	29	小テスト公共交通機関	
	12	小テストBaggage missing Problems in the hotel room 様々なtrouble	30	小テスト電車の切符を買う	
	13	小テスト世界の首都 観光名所	31	Hotel reservation	
	14	お祭り伝統的なものや文化の英語表現	32	小テスト Hotel service	
	15	3級単語テストReading & Listening section	33	小テストLost baggage 機内放送	
	16	3級単語テストReading & Listening section	34	学年末テストに向けての確認作業	
	17	前期のまとめ	35	テスト	
18	3級単語テストReading & Listening section	36	成績発表1年の総復習		
成績割合	テスト	前後期学期末テスト 各25点		学習FB方法	前期、後期 成績表を配布
	学習態度・出席率	出席 授業態度 観光英検の結果 25点			
	レポート	小テスト 課題提出 合わせて25点		成績評価	出席率80%以上 S90点-100点 A89-80点 B70点-79点 C60点-69点 D59点以下は不合格
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>80% R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>>80% G<<海外体験型学習>>				
講師プロフィール	大学卒業後、日本航空 国際線に7年間勤務 在米6年 在独2年 カリフォルニア大学にてTESL(英語教員免許)取得 日米の教員免許所有 日本語教師資格所有 グローバルな視点からのホスピタリティーに満ちた実践的な英語の授業を心がけています。				

シラバス

科目名	英会話 I A(A)		担当者名	G.McArdle		
学 科	英語キャリア科		授業方法	講義		
認定単位	2単位	開 講 期		授 業 時 間 数	36時間	
開講学年	1学年	必・選	必選			
授業目的	public speakingの基礎を学ぶと同時に、聴衆を感情的にひきつける技術を学ぶ					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	グローバルな状況においても相手を納得させることが出来る。PPTの効果的な作り方も体得する					
授業概要	会話技術の習得 前期・後期での最終プレゼンテーション					
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容		
	1	モデルプレゼンテーション1:効果的にプレゼンテーションをする方法	19	Opening(冒頭部)		
	2	モデルプレゼンテーション2:魔法の洗濯機	20	Check opening(冒頭部チェック)		
	3	アイデアの整理:アイデア出しのチェック	21	モデルプレゼンテーション2:Inconvenient Truthデータの提示		
	4	アイデアの整理:概要のチェック	22	Body 1(本文1)		
	5	Opening: GRAB(出だし:GRAB)	23	Check body 1(本文1チェック)		
	6	GRAB Check(GRABチェック)	24	Body 2(本文2)		
	7	Opening check(出だしチェック)	25	Check body 2(本文2チェック)		
	8	Body introduction(本文の導入)	26	モデルプレゼンテーション3:Inconvenient Truth 締めくくり		
	9	Body check(本文チェック)	27	Conclusion(締めくくり)		
	10	Body check(本文チェック)	28	Final check(最終チェック)		
	11	Conclusion introduction(締めくくり導入)	29	Presentations 1(プレゼンテーション1)		
	12	Conclusion check(締めくくりチェック)	30	Presentations 2(プレゼンテーション2)		
	13	Final check(最終チェック)	31			
	14	Presentations 1(プレゼンテーション1)	32			
	15	Presentations 2(プレゼンテーション2)	33			
	16	モデルプレゼンテーション1:Inconvenient Truth冒頭部	34			
	17	Check brainstorm(アイデア出しチェック)	35			
18	Check presentation outline(プレゼンテーション概要チェック)	36				
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付		
	学習態度・出席率	50%				
	レポート	0%	成績評価	出席率80%以上 S:90~100点 A:80~89点 B:70~79点 C:60~69点		
	合計	100%				
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>0% A<<主体的参加型学習>>60% G<<海外体感型学習>>40%					
講師プロフィール	Very Experienced teacher has worked for many schools in Tokyo, and Kanto district.					

シラバス

科目名	ビジネスマナー		担当者名	相川 奏恵	
学 科	英語キャリア科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	36時間
授業目的	社会で即戦力となる為にビジネスマナーを身につけ、社会人としての意識の持ち方、顧客満足度を向上させる応対力と仕事のすすめ方を習得する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 就活力を身につける ■ ビジネスマナーとコミュニケーション力を身につけ、職場での即戦力を身につける ■ 幅広い視野を持ち、積極的なキャリア形成に役立てる 				
授業概要	コミュニケーション力を高める為の話し方・聞き方・ことば遣いを身につけ電話・来客・訪問の応対力を養う。社内・社外・社交文書の知識を身につける。会社組織を理解し、報連相を演習で学ぶ。配慮の必要な顧客への対応や心理を学び、顧客満足度を高める。自己啓発と自己管理の出来る社会人を目指す。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション・授業目標・メールのマナー	19	電話対応③	
	2	文章上達1	20	バリアフリー①	
	3	自己分析・逆転の発想	21	バリアフリー②	
	4	GD攻略法・働く目的・世界の就活	22	来客対応・名刺交換	
	5	実習のマナー	23	訪問・席次・紹介	
	6	働くということ	24	クレーム対応①	
	7	ストローク	25	クレーム対応②	
	8	8つの意識	26	指示命令の受け方と報連相	
	9	顧客心理	27	上手な仕事の進め方①	
	10	敬語①	28	上手な仕事の進め方②	
	11	敬語②	29	上手な仕事の進め方③	
	12	敬語③	30	段取り力・8つの意識	
	13	敬語テスト・世界の学校	31	文章上達②	
	14	ビジネス文書①	32	創造力を高める①	
	15	ビジネス文書②	33	想像力を高める②	
	16	会社の使命・社員の役割	34	想像力を高める③	
	17	電話対応①	35	愛される社員になるために・上手な指導の受け方	
	18	電話対応②	36	振り返り・まとめ	
成績割合	テスト	60%	学習FB方法	討議・演習個別評価とアドバイス 定期テスト解説	
	学習態度・出席率	10%・20%			
	レポート	10%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89点 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	エアーニッポン(株)にてCA業務及び教育訓練教官業務(新人・中堅社員研修、緊急保安訓練教育・マニュアル作成)を経験。現在は日本講師協会にて電話応対、課題解決、新入社員研修等を実施。実績は環境庁、各市役所、埼玉県産業振興公社・東京都済生会中央病院・日本旅行・りそな総研・みずほ不動産・三菱ビルテクノサービス・SEGA・FC東京他				

シラバス

科目名	Business Conversation II		担当者名	
学 科	英語キャリア科		授業方法	講義
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	必選	授業時間数 36時間
授業目的	learn how to speak in business environment			
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	develop the ability to speak in a business environment			
授業概要	business vocabulary, grammar, email, phone, professional speech, interviews Textbook : English at Work 3 Student Book with MP3 Audio (Cengage Learning)			
授業計画表		授業内容		授業内容
	1	icebreakers	19	unit 6
	2	unit 1	20	unit 7
	3	unit 1	21	unit 7
	4	unit 1	22	unit 7
	5	unit 2	23	unit 8
	6	unit 2	24	unit 8
	7	unit 2	25	unit 8
	8	unit 3	26	unit 9
	9	unit 3	27	unit 9
	10	unit 3	28	unit 9
	11	unit 4	29	unit 10
	12	unit 4	30	unit 10
	13	unit 4	31	unit 10
	14	unit 5	32	unit 11
	15	unit 5	33	unit 11
	16	unit 5	34	unit 11
	17	unit 6	35	unit 12
	18	unit 6	36	unit 12
成績割合	テスト	%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付
	学習態度・出席率	50%		
	レポート	50%	成績評価	出席率80%以上 S:90~100点 A:80~89点 B:70~79点 C:60~69点
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>20% R<実働実践型学習>30% A<主体的参加型学習>20% G<海外体感型学習>30%			
講師プロフィール	Very Experienced teacher has worked for many schools in Tokyo, and Kanto district.			

シラバス

科目名	Intercultural Communication II		担当者名	G.McArdle	
学 科	英語キャリア科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	72時間
授業目的	learn about other cultures from around the world				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	develop the ability to empathize with other cultures and share ideas				
授業概要	countries, geography, culture, daily life, religion, racism, stereotypes, family, similarities with Japan				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	icebreakers	19	comedy	
	2	canada	20	other religions	
	3	guatemala	21	own country	
	4	cuba	22	editorial pics	
	5	dominican republic	23	racism	
	6	peru	24	stereotypes	
	7	morocco	25	dating	
	8	spain	26	family	
	9	france	27	country profile project	
	10	australia	28	country profile project	
	11	hong kong	29	country profile presentation	
	12	taiwan	30	country profile presentation	
	13	korea	31	essay writing about differences	
	14	judaism	32	essay writing about differences	
	15	christianity	33	essay writing about differences	
	16	islam	34	make a kahoot	
	17	movies	35	make a kahoot	
18	review test	36	review test		
成績割合	テスト	%	学習FB方法	成績評価	
	学習態度・出席率	20%			
	レポート	80%			
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>20% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>30%				
講師プロフィール	Very Experienced teacher has worked for many schools in Tokyo, and Kanto district.				

シラバス

科目名	Current Events II		担当者名	G.McArdle	
学 科	英語キャリア科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	36時間
授業目的	to gain a better understanding of the world by studying world news using English vocabulary				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	to develop the ability to empathize, discuss, and give opinions about current events				
授業概要	Breaking News English, discussions, debate, opinions				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	Breaking News English	19	Breaking News English	
	2	Breaking News English	20	Breaking News English	
	3	Breaking News English	21	Breaking News English	
	4	Breaking News English	22	Breaking News English	
	5	Breaking News English	23	Breaking News English	
	6	Breaking News English	24	Breaking News English	
	7	Breaking News English	25	Breaking News English	
	8	Breaking News English	26	Breaking News English	
	9	Breaking News English	27	Breaking News English	
	10	Breaking News English	28	Breaking News English	
	11	Breaking News English	29	Breaking News English	
	12	Breaking News English	30	Breaking News English	
	13	Breaking News English	31	Breaking News English	
	14	Breaking News English	32	Breaking News English	
	15	Breaking News English	33	Breaking News English	
	16	Breaking News English	34	Breaking News English	
	17	Breaking News English	35	Breaking News English	
	18	Breaking News English	36	Breaking News English	
成績割合	テスト		学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート	50%	成績評価	出席率80%以上 S:90~100点 A:80~89点 B:70~79点 C:60~69点 D:59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>20 R<<実働実践型学習>>30 A<<主体的参加型学習>>20 G<<海外体感型学習>>30				
講師プロフィール	Very Experienced teacher has worked for many schools in Tokyo, and Kanto district.				

シラバス

科目名	応用ゼミ		担当者名	岡崎 志織		
学 科	英語キャリア科		授業方法	ゼミ		
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開講期 必・選	必修	授業時間数	72時間	
授業目的	外国籍従業員を採用している企業様から外国籍従業員の日常生活や異文化問題をはじめとしたお困りごとを伺い、解決案や対応案を立案し、実施し、改善するサイクルをルーティン化する。 それにより国際化が進む日本社会で 一企業人として貢献できるスキルを身につける					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	企業様、外国人従業員様の困っている事柄を改善するお手伝いができるよう、あらゆる角度から問題解決策を探る。					
授業概要	前期は準備期間として、日本国内、東京都、特に八王子市の、現在の外国人労働者の数や職種、彼らが置かれている状況などについて統計なども参考にしながら学習し準備をする。企業様に出向くためのマナー、外国人社員さんと会話する際のやさしい日本語などについても学習し、彼らと作業する準備をする。 後期からは本格稼働し、zoomあるいは実際に企業様に赴き問題解決に役立てるよう努める。					
授業計画表	授業内容			授業内容		
	1	オリエンテーションやさしい日本語 1	19	振り返りと次回準備		
	2	やさしい日本語 2地域自治体の外国人への取り組み	20	zoomにて社員様と対話		
	3	日本における外国人労働者に関するデータの分析	21	振り返りと次回準備		
	4	外国人労働者を取り巻く環境	22	zoomにて社員様と対話		
	5	外国人労働者の語学学習状況	23	振り返りと次回準備		
	6	外国人労働者の労働状況(一般)	24	zoomにて社員様と対話		
	7	外国人労働者の問題点(企業から見た)	25	振り返りと次回準備		
	8	外国人労働者の問題点(外国人側から見た)	26	zoomにて社員様と対話		
	9	私たちが出来る事 1	27	振り返りと次回準備		
	10	私たちが出来る事 2	28	zoomにて社員様と対話		
	11	企業様とのzoom会議(前半の早い段階で)企業様側の要望など詳細を伺う	29	振り返りと次回準備		
	12	外国人社員様とのzoomでの話し合い信頼関係の構築 以後、定期的にzoomでの	30	zoomにて社員様と対話		
	13	活動の方針を決める 1	31	振り返りと次回準備		
	14	企業様訪問準備 1	32	zoomにて社員様と対話		
	15	企業様訪問準備 2	33	振り返りと次回準備		
	16	企業様訪問 実際に社員様と対面	34	会社訪問 2、社員様と対面にて対話		
	17	前週の企業訪問の反省点、改善点を話し合う	35	1年間のまとめ①		
18	zoomにて社員様と会話練習(日本語上達のための会話練習を必要とされた場合)	36	1年間のまとめ②			
成績割合	テスト		学習FB方法	年度末の成績表交付による		
	学習態度・出席率 100%					
	レポート		成績評価	S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格		
	合計 100%					
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>20%					
講師プロフィール	大学卒業後、日本航空 国際線に7年間勤務 在米6年 在独2年 カリフォルニア大学にてTESL(英語教員免許)取得 日米の教員免許所有 日本語教師資格所有 グローバルな視点からのホスピタリティーに満ちた実践的な授業を心がけています。					

シラバス

科目名	パソコン実習Ⅱ		担当者名	千葉 輝子	
学 科	英語キャリア科		授業方法	実習	
認定単位	2単位	開 講 期		授 業 時 間 数	72時間
開講学年	2学年	必・選	必選		
授業目的	Power Point・Excel共に、実務で役立つ機能を身に付ける				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	前期:PowerPointの基本操作及び効率の良いプレゼン資料の作成方法を身に付ける 後期:Excelの基本操作及び効率の良い表(計算含む)、グラフの作成方法を身に付ける				
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・毎授業、タイピング練習の実施(1年次に習得したタイピング力のアップを図る) ・PowerPointの基本操作を習得後、与えられたテーマをもとに各自プレゼン資料を作成し発表 ・Excelの基本操作を習得し、効率良く表やグラフを作成できるようなスキルを身に付ける 				
授業計画表		授業内容			授業内容
	1	オリエンテーション	19		基本の数式(相対参照と絶対参照)
	2	オリエンテーション	20		編集、書式設定
	3	オリエンテーション	21		表作成練習課題
	4	Power Pointの基本操作/スライドの作成(アウトライン表示)	22		グラフ作成の基本
	5	スライドの作成 図	23		課題(計算、表の装飾、グラフ)
	6	スライドの作成 SmartArt・グラフ・表	24		数式と関数の操作
	7	スライドの作成 発表用原稿、配布資料について	25		数式と関数の操作
	8	課題「日本情報処理検定協会 1級レベル」	26		表作成課題
	9	中間試験1「日本情報処理検定協会 1級レベル」	27		表作成課題
	10	発表用資料作成	28		表作成課題
	11	発表用資料作成	29		表作成課題
	12	発表用資料作成	30		表作成課題
	13	中間試験2 プレゼン発表	31		表作成課題
	14	Excelの基本操作	32		後期期末試験
	15	基本の関数と四則演算	33		後期期末試験 振り返り・復習
	16	基本の関数と四則演算	34		まとめ
	17	前期期末試験	35		まとめ
	18	前期期末試験 振り返り・復習	36		まとめ
成績割合	テスト	70%	学習FB方法	テスト70%	
	学習態度・出席率	20%		学習態度・出席率20%	
	レポート	10%	成績評価	提出物10%	
	合計	100%		出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>80% R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	電子部品商社に入社し国内営業アシスタントとして、商品の入在庫管理、見積書作成、売上の月次処理などの業務を担当。その後、大手特約代理店に転職し、パソコン教室の講師及び、テキスト作成、受付業務を担当。現在はフリーランスとして、新入社員研修を含む企業研修も担当している。				

シラバス

科目名	スペイン語 II		担当者名	上門 彩良		
学 科	英語キャリア科		授業方法	講義		
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	72時間	
授業目的	スペイン語の読む、書く、聞く、話す能力を身につける。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	"スペイン語の読み書きができる。 自然な発音とイントネーションで簡単な会話ができる。"					
授業概要	単語と文章の読み書きや聞き取り、正しい発音を練習する。					
授業計画表	授業内容			授業内容		
	1	"第1課(名詞+です)自己紹介"	19	第11課(過去形)		
	2	"第1課(名詞+です)第2課(名詞+ですの否定文)"	20	第11課(過去形)		
	3	第2課(「名詞+です」の否定文)	21	第11課(過去形)		
	4	第3課(こ・そ・あ、名詞+です)	22	第12課(敬語表現-現在)		
	5	第3課(こ・そ・あ、名詞+です、否定文)	23	第13課(敬語表現-過去形)		
	6	"第4課(ある・いる)"	24	"第12課(敬語表現-現在)第13課(敬語表現-過去形)"		
	7	"第4課(ある・いる)第5課(位置を表す表現)"	25	文型		
	8	第6課(動詞・形容詞の「です・ます」にあたる表現)	26	文型		
	9	第6課(動詞・形容詞)	27	テスト対策、予備日		
	10	第6課(動詞・形容詞)	28	テスト		
	11	第7課(動詞・形容詞の否定文)	29	テスト振り返り		
	12	テスト対策、予備日	30	まとめ		
	13	第8課(数詞)	31	試験対策		
	14	第9課(動詞・形容詞)	32	試験対策		
	15	第9課(動詞・形容詞)	33	試験対策		
	16	第9課(動詞・形容詞)	34	試験対策		
	17	第10課(固有数詞)	35	試験対策		
18	復習	36	試験対策			
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付		
	学習態度・出席率	30%				
	レポート	20%	成績評価	出席率80%以上 S:90~100点 A:80~89点 B:70~79点 C:60~69点		
	合計	100%				
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>30%					
講師プロフィール	Very Experienced teacher has worked for many schools in Tokyo, and Kanto district. 日本語、英語、スペイン語、マルチリンガル					

シラバス

科目名	異文化コミュニケーション II		担当者名	岡崎 志織	
学 科	英語キャリア科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	1異なる文化的背景や価値観を持つ他者を知り、異文化への興味・関心を広げ、多様な背景を持つ人々と良好なコミュニケーションを図るための能力やスキル、寛容な態度を養う。2国際社会や国際ビジネス、訪日外国人に目を向け、これからの多文化共生社会における専門的職業人としての素養と自覚を高める。3自分自身がこれまで意識していなかった文化や価値観を意識化、また相対化し、自文化や自己のアイデンティティを高めるとともに、自己表現を通じて、社会的な自立に向けたコミュニケーション能力を養成する。				
授業目標 (ラーニング アウトカム)	1異文化や国際社会に興味・関心をもって、寛容な心と態度で柔軟に対応するとともに、自分の意見を発信できるコミュニケーション力を身につけている。2異文化コミュニケーションや訪日外国客接遇の基礎的な知識を習得し、それらの意義を理解し、自身のキャリアへの活かし方を考えることができる。3他者や他文化を知ることを通して、自己や自文化を見つめ直し、新たな価値観と拡大した視野を得て、今後の人生において自分が社会にどのように貢献できるかを考えることができる。				
授業概要	1国家間や人種の違いだけでなく世代や立場の違いなどを文化差と捉え、異文化摩擦の原因や対処法の理論を理解するのみならず、体験的に身に着けていくことができるように、具体的な異文化接触場面の事例を取り上げ、ディスカッションやアクティビティなどの活動を行う。この活動の過程で、異文化トレーニングの手法や、効果的なコミュニケーションの方法を学び、実践する。2国際的な話題(国内外の動向や社会問題、経済やビジネス、旅行・観光やポップカルチャーなど)に幅広く触れ、国際的なコミュニケーション文化を知るとともに、国際社会や国際ビジネス、訪日外国人への興味・関心を高める。3外国客接遇の基礎知識を一部に取り入れ、職業観の醸成と、就職後のより満足度の高い接遇につなげる。				
授業計画表	授業内容		授業内容		
	1	文化とは何か、身近にある文化(異文化)	19	オーバーツーリズム 2 問題点	
	2	身近にある文化、異文化ステレオタイプ	20	ニュースの視点から日本の中の異文化の問題点を探る 1	
	3	ステレオタイプ	21	ニュースの視点から日本の中の異文化の問題点を探る 2	
	4	日本人らしさとは	22	外国人労働者がもたらす利点	
	5	異文化接触 1	23	外国人労働者 その問題点	
	6	異文化接触 2	24	食生活から見えてくる外国文化 1	
	7	多文化共生社会のあり方 1	25	食生活から見えてくる外国文化 2	
	8	多文化共生社会のあり方 2	26	音楽、芸術、文化での異文化の貢献度 1	
	9	やさしい日本語 外国人との接し方 1	27	音楽、芸術、文化での異文化の貢献度 2	
	10	やさしい日本語 外国人との接し方 2	28	日本文化が外国社会にもたらすもの 1	
	11	言葉によるコミュニケーション	29	日本文化が外国社会にもたらすもの 2	
	12	言葉によるコミュニケーションノンバーバルコミュニケーション 1	30	宗教と異文化 1	
	13	ノンバーバルコミュニケーション 2カルチャーショック 1	31	宗教と異文化 2	
	14	カルチャーショック 2	32	世界に羽ばたく準備 1	
	15	前期末試験対策 総復習	33	世界に羽ばたく準備 2	
	16	前期末試験	34	学年末試験対策、総復習	
	17	試験返却、解説	35	学年末試験	
18	オーバーツーリズム 1 原因を探る	36	試験返却、総まとめ		
成績割合	テスト	60%	学習FB方法	振り返りシートを使い異文化への理解度を多方面から認識する。	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	10%	成績評価	S ,A ,B ,C,D	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>実体験、ニュース、新聞などの情報から現代日本の異文化に関連する問題点を探して討論する。 R<<実働実践型学習>>インターンシップや、アルバイトなどで実際に体験した異文化体験をシェアして、一人一人の異文化、外国人との接し方を探す。 A<<主体的参加型学習>>今年度はゼミで外国人と接する機会があるため、その機会を有効に使い積極的に外国人と関わるようにする。 G<<海外体験型学習>>TAを交えた学習、ゼミでの外国人など異文化に接する機会が多いため、積極的に言葉を発し国際交流に貢献する。				
講師プロフィール	大学卒業後、日本航空 国際線に7年間勤務 在米6年 在独2年 カリフォルニア大学にて英語教員免許(ESL)取得 日米の教員免許所有 日本語教師資格所有 国際線CAとしての経験、また長い海外生活で得た、グローバルな視点からのホスピタリティーに満ちた実践的かつ学生参加型の異文化コミュニケーションの授業を心がけています。				

シラバス

科目名	Vocabulary & Idiom II		担当者名	鈴木良	
学 科	英語キャリア科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	この授業では英語音声学と英語の句動詞について学ぶ。どちらも普通の英語の授業ではあまり取り上げられないことのない英語の側面に触れることになる。英語音声学は音声学の基礎知識を得ることによって、発音をよくすることが最終目的である。句動詞の学習では句動詞の知識を学ぶことによって、表現力を伸ばし、ネイティブの生の英語の理解を深め、さらにライティングの能力を高めることも目的とする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	音素記号を読めるようにし、それぞれの音素を正確に発音できるようになる。 音の連続、アクセント、リズム、イントネーションなどの英語音声学の基礎知識を習得し、自然な英語の発音を見つけることができる。 よく使う句動詞表現(基礎動詞+副詞・前置詞)を習得し、自分で使えるようにする。				
授業概要	毎回行う小テストを通し句動詞を学ぶ。教科書を使用し英語の子音・母音の発音、アクセント、イントネーションの理解などの基礎を学ぶ。				
授 業 計 画 表	授 業 内 容			授 業 内 容	
	1	句動詞小テストの説明、現代英語の標準発音	19	小テスト 281-300、音の連続①	
	2	小テスト 21-40、つづり字と発音①	20	小テスト 301-320、音の連続②	
	3	小テスト 41-60、つづり字と発音②	21	小テスト 321-340、アクセント①	
	4	小テスト 61-80、音素	22	小テスト 341-360、アクセント②	
	5	小テスト 81-100、子音①	23	小テスト 361-380、アクセント③	
	6	小テスト 101-120、子音②	24	小テスト 381-400、アクセント④	
	7	小テスト 121-140、子音③	25	小テスト 401-420、アクセント⑤	
	8	小テスト 141-160、子音④	26	小テスト 421-440、リズム	
	9	休講(インターナショナルウィーク)	27	小テスト 441-460、イントネーション①	
	10	小テスト 161-180、子音⑤	28	小テスト 461-480、イントネーション②	
	11	小テスト 181-200、母音①	29	小テスト 481-500、イントネーション③	
	12	小テスト 201-220、母音②	30	小テスト 501-520、イントネーション④	
	13	小テスト 221-240、母音③	31	小テスト 521-540、イントネーション⑤	
	14	前期期末試験	32	期末試験対策	
	15	小テスト 241-260、母音④	33	まとめ	
	16	小テスト 261-280、母音⑤	34	まとめ	
	17	まとめ	35	後期期末試験	
18	まとめ	36	試験返却		
成績割合	テスト	30%(学期末)、40%(イディオム小テスト)	学習FB方法	口頭	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	0%	成績評価	小テスト、定期試験(前期・後期)、平常点	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>60% R<<実働実践型学習>>0% A<<主体的参加型学習>>60% G<<海外体感型学習>>100%				
講師プロフィール	TOEIC Listening & Reading テスト スコア990点取得、英検1級、中学校・高等学校教員免許(英語)取得				

シラバス

科目名	プレゼン技法Ⅱ		担当者名	中川 文康	
学 科	英語キャリア科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	基本に忠実なプレゼンテーション技術(スライド作成+話法)の修得と共に、表現技術の向上によりコミュニケーション全般の質を高める。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	プレゼンテーションの資料作成から発表までを体系づけて学び、理想的なプレゼンテーションの実践に結び付ける。				
授業概要	①コミュニケーション能力向上の為の年間個人目標の設定 ②プレゼンテーションの本質を理解する ③資料作成要領、技術の修得 ④話し方(言葉の選択・表現)などの技術を修得				
授業計 画表	授 業 内 容			授 業 内 容	
	1	第1回資料に基づく講義 課題提出1回目(個人の年間目標設定)	19	上期最終章で設定したプレゼン課題への作成取組み開始	
	2	課題提出に基づく発表を通じて、講師&学生間で目標を統合する	20	資料作成と個別指導対応	
	3	対人関係の糸口は自己紹介から! 自己紹介の重要性と時間管理について講義。課題提出2回目(自己紹介シート)	21	資料作成と個別指導対応	
	4	発表態度、話し方、時間管理の実践訓練を含む	22	資料作成と個別指導対応	
	5	プレゼンテーションの基礎と本質を理解する	23	資料作成と個別指導対応	
	6	プレゼンテーション実施の際の心構え、聞き手中心の話し方考察	24	資料作成と個別指導対応	
	7	「聞き手中心の話し方」実践的な演習&訓練	25	提出資料の改善・改良・個人別指導及び発表原稿の校正	
	8	プレゼンへの準備事項と戦略的プレゼン対応の重要要素	26	提出資料の改善・改良・個人別指導及び発表原稿の校正	
	9	グループ討論&グループワークによる深堀り	27	提出資料の改善・改良・個人別指導及び発表原稿の校正	
	10	視覚情報の重要性について講義、聴覚情報との補充関係について。	28	実践発表による成果の披露と成績考課	
	11	グループ討論&グループワークによる深堀り	29	実践発表による成果の披露と成績考課	
	12	実技実演に関わる「話し手」の立ち居振る舞い・話し方	30	実践発表による成果の披露と成績考課	
	13	個人演習訓練、グループ演習訓練	31	実践発表による成果の披露と成績考課	
	14	テーマを決めて簡単な演習スライドの作成(下期対応への助走として課題の検討を含め)	32	実践発表による成果の披露と成績考課	
	15	テーマを決めて簡単な演習スライドの作成(下期対応への助走として課題の検討を含め)	33		
	16	テーマを決めて簡単な演習スライドの作成(下期対応への助走として課題の検討を含め)	34		
	17	テーマを決めて簡単な演習スライドの作成(下期対応への助走として課題の検討を含め)	35		
	18	テーマを決めて簡単な演習スライドの作成(下期対応への助走として課題の検討を含め)	36		
成績割合	テスト		学習FB方法	演習課題及び課題提出物などは講師コメントを付記して返却配信するが、対面授業での個別指導を重要視し、学習の進捗状況により対応する。	
	学習態度・出席率	学習態度(20%)、出席率(10%)			
	レポート	加点・原点調整の必要に応じて提出を求める	成績評価	プレゼンの本質的理解度合を判断し、実践応用を通じて発揮される評価する。 S+90, A+80, B+70, C+60, D-59	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>基本・基礎の理解と基本動作の運動(70%) R<<実働実践型学習>>基本に忠実に加えて応用活用と創造力の発揮(50%) A<<主体的参加型学習>>目標を設定したらそれに向けて挑戦する意欲と継続する力(50%) G<<海外体感型学習>>英語による資料検索を通じて情報の取捨選択と理解(25%)				
講師プロフィール	物流企業で11年間の海外勤務経験、役員として企業内大学設立・学長として人材育成・社員教育に注力。プレゼン技術を通じてコミュニケーション力の向上を目指し、企業研修講師として13年のキャリアを活かし、学ぶ楽しさとモチベーションの継続、挑戦する喜びなど、対話を重視した授業を通じて人前で自信を持って話すことが出来るように指導。JAFANA講師。社員教育コンサルタント。全日本弓道連盟会員。俳人協会会員。				

シラバス

科目名	Reading II		担当者名	G.McArdle	
学 科	英語キャリア科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	36時間
授業目的	to gain a better understanding of the world by studying world news using English materials				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	to develop the ability to empathize, discuss, and give opinions about current events				
授業概要	Breaking News English, discussions, debate, opinions				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	Breaking News English	19	Breaking News English	
	2	Breaking News English	20	Breaking News English	
	3	Breaking News English	21	Breaking News English	
	4	Breaking News English	22	Breaking News English	
	5	Breaking News English	23	Breaking News English	
	6	Breaking News English	24	Breaking News English	
	7	Breaking News English	25	Breaking News English	
	8	Breaking News English	26	Breaking News English	
	9	Breaking News English	27	Breaking News English	
	10	Breaking News English	28	Breaking News English	
	11	Breaking News English	29	Breaking News English	
	12	Breaking News English	30	Breaking News English	
	13	Breaking News English	31	Breaking News English	
	14	Breaking News English	32	Breaking News English	
	15	Breaking News English	33	Breaking News English	
	16	Breaking News English	34	Breaking News English	
	17	Breaking News English	35	Breaking News English	
	18	Breaking News English	36	Breaking News English	
成績割合	テスト		学習FB方法		
	学習態度・出席率	50%			
	レポート	50%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>20 R<<実働実践型学習>>30 A<<主体的参加型学習>>20 G<<海外体感型学習>>30				
講師プロフィール	Teacher is Canadian; 14 years experience. Very Experienced teacher has worked for many schools in Tokyo, and Kanto district.				

シラバス

科目名	Writing II		担当者名	Ernest Chan		
学 科	英語キャリア科		授業方法	講義		
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	36時間	
授業目的	This class encourages students to use their skills to present their ideas and opinions in front of an audience. こ					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	Students will be able to improve in their skills, English grammar skills and vocabulary.					
授業概要	Focus on writing.					
授業計画表	授業内容			授業内容		
	1	オリエンテーション	19	Presentation		
	2	Introduce Topic	20	Introduce Topic		
	3	Writing and Practice	21	Writing and Practice		
	4	Presentation	22	Presentation		
	5	Introduce Topic	23	Introduce Topic		
	6	Writing and Practice	24	Writing and Practice		
	7	Presentation	25	Presentation		
	8	Introduce Topic	26	Introduce Topic		
	9	Writing and Practice	27	Writing and Practice		
	10	Presentation	28	Presentation		
	11	Introduce Topic	29	Introduce Topic		
	12	Writing and Practice	30	Writing and Practice		
	13	Presentation	31	Presentation		
	14	Introduce Topic	32	Introduce Topic		
	15	Writing and Practice	33	Writing and Practice		
	16	Presentation	34	Presentation		
	17	Introduce Topic	35	Final Project		
18	Writing and Practice	36	Final Project			
成績割合	テスト		学習FB方法	Grades are submitted at the end of the semester. 成績は学期の終わりに提出されま S = 100%-90%, A = 89%-80%, B = 79%-70%, C = 69%-60%, 落第 = 59%-下		
	学習態度・出席率 50%					
	レポート 50%		成績評価			
	合計 100%					
P/R/A/C割合	P<<課題解決型学習>> R<<実働実践型学習>>50% A<<主体的参加型学習>>50% G<<海外体感型学習>>					
講師プロフィール						

シラバス

科目名	listening II	担当者名	Ernest Chan
学 科	英語キャリア科	授業方法	講義
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	必選 授業時間数 36時間
授業目的	to gain a better understanding of the world by studying world news using English listenig materials.		
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	to develop the ability to listening to English		
授業概要	Breaking News English, discussions, debate, opinions.		
授業計画表		授業内容	授業内容
	1	Breaking News English	19 Breaking News English
	2	Breaking News English	20 Breaking News English
	3	Breaking News English	21 Breaking News English
	4	Breaking News English	22 Breaking News English
	5	Breaking News English	23 Breaking News English
	6	Breaking News English	24 Breaking News English
	7	Breaking News English	25 Breaking News English
	8	Breaking News English	26 Breaking News English
	9	Breaking News English	27 Breaking News English
	10	Breaking News English	28 Breaking News English
	11	Breaking News English	29 Breaking News English
	12	Breaking News English	30 Breaking News English
	13	Breaking News English	31 Breaking News English
	14	Breaking News English	32 Breaking News English
	15	Breaking News English	33 Breaking News English
	16	Breaking News English	34 Breaking News English
	17	Breaking News English	35 Breaking News English
	18	Breaking News English	36 Breaking News English
成績割合	テスト	学習FB方法	成績評価
	学習態度・出席率 50%		
	レポート 50%		
	合計 100%		
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>20 R<<実働実践型学習>>30 A<<主体的参加型学習>>20 G<<海外体感型学習>>30		
講師プロフィール	teacher is Canadian; 14 years experience		

シラバス

科目名	通訳翻訳Ⅱ		担当者名	岡崎 志織		
学 科	英語キャリア科		授業方法	講義		
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	36時間	
授業目的	プロのトレーニング方法を学び強力なスキルを得る。トレーニングを重ねて、逐次、同時、ウイスパリングの技術を体得し、使える技術を身に着ける。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	トレーニングを重ねて、逐次、同時、ウイスパリングの技術を体得し、使える技術を身に着ける。					
授業概要	通訳経験の浅い英語学習者も、リスニングとスピーキングのスキルを強化しつつ、基本に忠実なシステムティックな訓練を積む。					
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容		
	1	オリエンテーションLesson 1 リスニングパワーアップ		19	Lesson 7 頭ごなし訳のテクニック1	
	2	Lesson 1 リスニングパワーアップ		20	Lesson 8 頭ごなし訳のテクニック2	
	3	Lesson 1 リスニングパワーアップLesson 2 リピーティング、区切り聞き		21	Lesson 8 頭ごなし訳のテクニック2	
	4	Lesson 2 リピーティング、区切り聞き		22	Lesson 9 サイトトランスレーション	
	5	Lesson 2 リピーティング、区切り聞き		23	Lesson 9 サイトトランスレーション	
	6	Lesson 3 単語のクイックレスポンス		24	Lesson 10 リテンション練習	
	7	Lesson 3 単語のクイックレスポンス		25	Lesson 10 リテンション練習	
	8	Lesson 4 セグメント判断		26	Lesson 11 内容先取りの戦略	
	9	Lesson 4 セグメント判断		27	Lesson 11 内容先取りの戦略	
	10	Lesson 5 数字のクイックレスポンス		28	Lesson 12 予測の戦略	
	11	Lesson 5 数字のクイックレスポンス		29	Lesson 12 予測の戦略	
	12	Lesson 6 シャドーイング		30	Lesson 13 区切聞きⅡ	
	13	Lesson 6 シャドーイング		31	Lesson 13 区切聞きⅡ	
	14	Lesson 6 シャドーイング		32	Lesson 14 同時サイトトランスレーション	
	15	前期末試験対策、復習		33	Lesson 14 同時サイトトランスレーション、通訳メモ	
	16	前期末試験		34	学年末試験対策 総まとめ、復習	
	17	試験返却、解説		35	学年末試験	
18	Lesson 7 頭ごなし訳のテクニック1		36	試験総括、総復習		
成 績 割 合	テスト	60%	学習FB方法	各自の音読速度を定期的に測定し、学習の上達度を確認		
	学習態度・出席率	30%				
	レポート	10%	成績評価	S ,A ,B ,C,D		
	合計	100%				
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>自分の英語力、語彙力、音読スピードを常に意識して改善に努める R<<実働実践型学習>>積極的にリスニング、リピーティング、シャドーイングの習慣を身につける A<<主体的参加型学習>>教科書の教材に留まらず、各自自分に合ったリスニング教材を探して、それを聞きながら同時通訳する練習をする。G<<海外体感型学習>>TAとの学習を通して、生の英語の発音や速度に触れ、通訳の練習をしてみる					
講師プロフィール	大学卒業後、日本航空 国際線に7年間勤務 在米6年 在独2年 カリフォルニア大学にて英語教員免許(TESL)取得 日米の教員免許所有 日本語教師資格所有 国際線CAとしての経験、また長い海外生活で得たグローバルな視点からのホスピタリティーに満ちた実践的な英語の授業を心がけています。					

シラバス

科目名	接遇手話Ⅱ		担当者名	平野 真由美			
学 科	英語キャリア科		授業方法	講義			
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	36時間		
授業目的	① 手話の基本を学び、基礎的な日常会話を習得しながらコミュニケーション力を高める。 ② 様々な言語同様に、手話も独自の文法を持つ1つの言語であることを知る。 ③ 聴覚障がいについて理解すると共に、社会のマイノリティーへの認識を深める。						
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	① 日常会話の手話語彙の習得。 ② 簡単な自己紹介・会話の習得。 ③ 聴覚障がいの基礎知識学習。聴覚障がい者のもつ背景・文化への理解。						
授業概要	① 聴覚障がいの基礎知識・コミュニケーション手段などの座学。 ② 簡単な自己紹介・日常会話の実技。 ③ 聴覚障がいゲスト講師との交流。						
授業計画表	授業内容			授業内容			
	1	ガイドダンス・導入(手話とは?その背景とは?)・ワークシートを使って	19	疑問詞(だれ・なぜ・どちら・いくつ)			
	2	伝える工夫(コミュニケーション方法・挨拶の手話)	20	疑問詞のまとめ(疑問詞を使った文章表現)			
	3	手話の基本(指文字・挨拶・出来る/出来ない)	21	時制(1日・1週間の生活)/都道府県名			
	4	手話の基本(指文字・名前・学校名・好き/嫌い)	22	時制(四季・1年の生活)/都道府県名			
	5	手話の基本(数の表現・疑問詞の使い方)	23	聴覚障がいと福祉制度/接遇手話の簡単な例文練習			
	6	自己紹介(住所・出身地・県名・国名 含む)	24	ゲスト授業事前学習(ろう文化等)/接遇手話の練習			
	7	自己紹介(人物・家族の表現)	25	ゲスト講師(聴覚障がい者)を招いて			
	8	自己紹介(誕生日・数字・時の表現)	26	聴覚障がいの特性理解・先週の感想等の共有			
	9	自己紹介(趣味の表現)	27	後期の復習/動画視聴①聞こえない学生の日常生活を視聴して 動画読み取り②色々な聞こえない方の自己紹介			
	10	自己紹介(職業などの表現)	28	後期の復習/手話ソング(X'masソング)			
	11	夏休み前 自己紹介の総復習・質疑応答	29	時節の手話(お正月に関する単語/例文)			
	12	夏休み前 自己紹介の総復習・表出の小テスト	30	動画の読み取り(手話検定に出題されやすい例文)			
	13	夏休み前 自己紹介の総復習・読み取りの小テスト	31	1年間の総復習(試験対策表出練習)			
	14	前期の復習 夏休み明け課題(自己紹介の項目/指文字等々)確認	32	学年末試験(表出試験)			
	15	前期末試験前の総復習・質疑応答	33	学年末試験(読み取り/筆記試験)			
	16	前期末試験(自己紹介の表出試験)	34	試験の返却/解説・1年間の総まとめ			
	17	前期末試験(読み取り/筆記試験)	35	年間総まとめ レクリエーション(手話かるた等々)			
	18	試験の返却/解説(前期の振り返り)	36				
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	使用教材:「豊かなコミュニケーション」(NPO法人 東京都中途失聴・難聴者協会 発行)			
	学習態度・出席率	40%					
	レポート	10%	成績評価			出席率80%以上 S…90~100点 A…80~89点 B…70~79点 C…60~69点 D… 59点以下不合格	
	合計	100%					
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>10% R<<実働実践型学習>>40% A<<主体的参加型学習>>40% G<<海外体感型学習>>10%						
講師プロフィール	手話通訳士として、講義・講演会・会議・その他生活全般での手話通訳活動や手話指導を通して、日々の研鑽、経験を授業に活かすことを旨としている。						

シラバス

科目名	Business English II		担当者名	G.McArdle		
学 科	英語キャリア科		授業方法	講義		
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	36時間	
授業目的	learn how to speak in business environment					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	develop the ability to speak in a business environment					
授業概要	business vocabulary, grammar, email, phone, professional speech, interviews Textbook : English at Work 3 Student Book with MP3 Audio (Cengage Learning)					
授業計画表	授業内容			授業内容		
	1	icebreakers	19	unit 6		
	2	unit 1	20	unit 7		
	3	unit 1	21	unit 7		
	4	unit 1	22	unit 7		
	5	unit 2	23	unit 8		
	6	unit 2	24	unit 8		
	7	unit 2	25	unit 8		
	8	unit 3	26	unit 9		
	9	unit 3	27	unit 9		
	10	unit 3	28	unit 9		
	11	unit 4	29	unit 10		
	12	unit 4	30	unit 10		
	13	unit 4	31	unit 10		
	14	unit 5	32	unit 11		
	15	unit 5	33	unit 11		
	16	unit 5	34	unit 11		
	17	unit 6	35	unit 12		
18	unit 6	36	unit 12			
成績割合	テスト	%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付		
	学習態度・出席率	50%				
	レポート	50%	成績評価	出席率80%以上 S:90~100点 A:80~89点 B:70~79点 C:60~69点 D:59点以下は不合格		
	合計	100%				
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>20% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>30%					
講師プロフィール	Very Experienced teacher has worked for many schools in Tokyo, and Kanto district.					

シラバス

科目名	Geography II		担当者名	金田一 栄子		
学 科	英語キャリア科		授業方法	講義		
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	36時間	
授業目的	国内の観光地や文化への理解を深める。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	国内の観光地、伝統文化、郷土料理、その他の観光事情事情などについて知識を身につけ、日本の魅力を伝えられるようになる。					
授業概要	旅に出たくなる地図 日本(帝国書院)。国内観光資源(JTB総合研究所)を使用。地図で確認しながら、基本的な事項を学ぶ。またインバウンド観光客に人気のある場所などについて、個人、グループワークを行いその発表を行う。プランニングも行う。					
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容		
	1	授業の概要と地図の使い方	19	京都・大阪・神戸		
	2	47都道府県と県庁所在地	20	三都プランニング		
	3	地元自慢	21	三都プランニング		
	4	北海道	22	近畿1(奈良・三重・和歌山)		
	5	東北地方6県	23	近畿2(兵庫・滋賀)		
	6	北海道・東北地方研究	24	中国1(広島・岡山)		
	7	北関東(茨城・栃木・群馬)	25	中国2(鳥取・島根・山口)		
	8	南関東(千葉・埼玉・神奈川)	26	四国地方 4県		
	9	東京	27	瀬戸内海の島々		
	10	伊豆・箱根	28	九州1(福岡・長崎・佐賀)		
	11	関東地方プランニング	29	九州2(宮崎・大分・熊本・鹿児島)		
	12	関東地方プランニング	30	沖縄		
	13	中部1(山梨・新潟)	31	九州・沖縄プランニング		
	14	中部2(長野・岐阜)	32	テーマ別研究		
	15	中部3(福井・石川・富山)	33	テーマ別研究		
	16	中部4(愛知・静岡)	34	テーマ別研究		
	17	中部地方プランニング	35	プレゼンテーション		
18	確認テスト	36	確認テスト・まとめ			
成績割合	テスト	30%	学習FB方法	前期末・後期末 成績表を配布 出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格		
	学習態度・出席率	40%				
	レポート	30%	成績評価			
	合計	100%				
P/R/A/C割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>>50% G<<海外体感型学習>>					
講師プロフィール	旅行会社でカウンター、営業、添乗、業務渡航など多岐に渡る業務を経験後、旅行分野、観光英語等で長い指導歴を持ちます。2002年から観光英検問題作成委員。					

シラバス

科目名	英会話ⅡA(B)		担当者名	G.McArdle	
学 科	英語キャリア科		授業方法	講義	
認定単位	2単位	開 講 期		授 業 時 間 数	36時間
開講学年	2学年	必・選	必選		
授業目的	This class is about learning basic grammar and vocabulary used in conversational English, starting at the beginner level. このクラスは、英会話で使用される基本的な文法と語彙を中級レベルから学びます。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	Students will be able to communicate in English conversations about various commonly discussed topics. 学生は、よく議論されるさまざまなトピックについて英会話でコミュニケーションできるようになります。				
授業概要	Students use the textbook "Four Corners" to learn a new grammar concept every week, as well as vocabulary associated with a specific conversational topic. 学生は教科書「Four Corners」を使用して、毎週新しい文法の概念と、特定の会話トピックに関連する語彙を学びます。				
授 業 計 画 表		授 業 内 容			授 業 内 容
	1	Unit 1 Lessons A + B		19	Unit 7 Lessons A + B
	2	Unit 1 Lessons C + D		20	Unit 7 Lessons C + D
	3	Final Exams		21	Mini Quiz
	4	Unit 2 Lessons A + B		22	Unit 8 Lessons A + B
	5	Unit 2 Lessons C + D		23	Unit 8 Lessons C + D
	6	Mini Quiz		24	Unit Conversation Exam
	7	Unit 3 Lessons A + B		25	Unit Conversation Exam
	8	Unit 3 Lessons C + D		26	Unit 9 Lessons A + B
	9	Mini Quiz		27	Unit 9 Lessons C + D
	10	Unit 4 Lessons A + B		28	Mini Quiz
	11	Unit 4 Lessons C + D		29	Unit 10 Lessons A + B
	12	Unit Conversation Test		30	Unit 10 Lessons C + D
	13	Unit Conversation Test		31	Mini Quiz
	14	Unit 5 Lessons A + B		32	Unit 11 Lessons A + B
	15	Unit 5 Lessons C + D		33	Unit 11 Lessons C + D
	16	Mini Quiz		34	Unit 12 Lessons A + B
	17	Unit 6 Lessons A + B		35	Unit 12 Lessons C + D
18	Unit 6 Lessons C + D		36	Final Exams	
成 績 割 合	テスト	50%	学習FB方法	Grades are given at the end of the semester. 成績は学期の終わりに提出されます。 S = 100%-90%, A = 89%-80%, B = 79%-70%, C = 69%-60%, 落第 = 59%-下	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート	0%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>0% R<<実働実践型学習>>35% A<<主体的参加型学習>>35% G<<海外体感型学習>>30%				
講師プロフィール	Very Experienced teacher has worked for many schools in Tokyo, and Kanto district.				

シラバス

科目名	TOEIC(B)		担当者名	鈴木良	
学 科	英語キャリア科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	TOEIC Listening & Reading テストの形式を知り、スコア500点以上を取得できるよう、ボキャブラリー、リスニング、文法、リーディング力を高める。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	各パートごとのリスニングのコツを学び、100問中67問以上(TOEIC テスト リスニングセクション 300点以上)正解を目指す。 Part 5 の文法問題の解き方の基本を学ぶ。文型、品詞などの必要な知識にも触れる。 毎週行う小テストを通し TOEIC 頻出単語・熟語400語(TOEIC テスト 400-600レベル)を学ぶ。 模試を通し、実際のテストの感覚を身につける。				
授業概要	TOEIC 500点取得に必要なボキャブラリーを身につけるため、毎回小テストを行う。リスニングの演習を通し、解き方の戦略(strategies)を身につける。模試を定期的に行い、学んだスキルを実践する機会を設ける。リスニングが中心となるが、時間が許す限りリーディングセクションの問題の解き方も指導する。効率的な学習のために毎回、解いた問題を授業後に復習することが大事であるが、TOEIC テスト本番で目標の点数に届くためには、特に小テストで学んだボキャブラリー 400 を継続的に復習することによって、マスターすることが必須である。				
授業計画表		授業内容			授業内容
	1	ボキャブラリー力試しテスト、Common objects イントロ、文型①		19	ボキャブラリー小テスト 3.3、トレーニング・リスニング編 2 S5
	2	ボキャブラリー 1.1 イントロ、トレーニング・リスニング編 2 S1、文型②		20	ボキャブラリー小テスト 3.4、トレーニング・リスニング編 2 S5
	3	ボキャブラリー小テスト 1.1、トレーニング・リスニング編 2 S1、文型③		21	ボキャブラリーまとめ小テスト 3.1-3.4、トレーニング・リスニング編 2 S6
	4	ボキャブラリー小テスト 1.2、Part 2「WH questions」、文型④		22	ボキャブラリー小テスト 4.1、トレーニング・リスニング編 2 S6
	5	ボキャブラリー小テスト 1.3、Part 2「選択疑問文」、文型⑤		23	ボキャブラリー小テスト 4.2、トレーニング・リスニング編 2 S7
	6	ボキャブラリー小テスト 1.4、Part 2「依頼・許可・提案・勧誘の文」、品詞		24	ボキャブラリー小テスト 4.3、トレーニング・リスニング編 2 S7
	7	ボキャブラリーまとめ小テスト 1.1-1.4、Parts 1-2 模試①、品詞		25	ボキャブラリー小テスト 4.4、トレーニング・リスニング編 2 S8
	8	ボキャブラリー小テスト 2.1、Parts 3-4 模試①		26	ボキャブラリーまとめ小テスト 4.1-4.4、Parts 3-4 模試②
	9	ボキャブラリー小テスト 2.2、トレーニング・リスニング編 2 S2、Jobs 1		27	Parts 3-4 模試①
	10	トレーニング・リスニング編 2 S2、Jobs 2		28	Reading Section 模試②
	11	ボキャブラリー小テスト 2.3、Listening Section 模試①		29	Listening Section 模試②
	12	Reading Section 模試①		30	トレーニング・リスニング編 2 S9
	13	ボキャブラリー小テスト 2、トレーニング・リスニング編 2 S3		31	期末試験対策
	14	ボキャブラリーまとめ小テスト 2.1-2.4、トレーニング・リスニング編 2 S3、Memory g		32	まとめ
	15	期末試験対策		33	まとめ
	16	前期期末試験		34	まとめ
	17	ボキャブラリー小テスト 3.1、トレーニング・リスニング編 2 S4		35	まとめ
18	ボキャブラリー小テスト 3.2、トレーニング・リスニング編 2 S4		36	後期期末試験	
成績割合	テスト	30%(学期末)、40%(ボキャブラリー小テスト)		学習FB方法	口頭
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	0%		成績評価	単語小テスト等の小テスト、宿題、定期試験(前期・後期)、平常点
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>60% R<<実働実践型学習>>0% A<<主体的参加型学習>>60% G<<海外体感型学習>>100%				
講師プロフィール	TOEIC Listening & Reading テスト スコア990点取得、英検1級、中学校・高等学校教員免許(英語)取得				

シラバス

科目名	キャリア開発 I		担当者名	葛原 加奈子、宮鍋 涼、沼田 かな子、井上 一輝、山本 友梨香、野上 伴睦		
学 科			授業方法	講義		
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	選択	授業時間数	36時間	
授業目的	卒後VISIONに磨きをかけ、解像度を上げる。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	授業開始時の卒後VISIONの評価と授業終了時の卒後VISIONの評価を比較し評価がランクアップしていること。					
授業概要	未来デザインをケーススタディする。 好奇心から社会変化を探究し、自分未来を事例探究する。					
授業計画表	授業内容			授業内容		
	1	オリエンテーション	19	オリエンテーション		
	2	オリエンテーション	20	企業人講話		
	3	卒後VISIONとは	21	企業人講話		
	4	働くこととは	22	ガクチカ分析		
	5	卒業生講話	23	ガクチカ分析		
	6	卒業生講話	24	起業家講話		
	7	卒後VISION書き直し	25	起業家講話		
	8	グローバル(IW6/9-20)	26	卒後VISION書き直し		
	9	グローバル(IW6/9-20)	27	特別講座準備		
	10	働き方について(キャリアの選択肢)	28	特別講座準備		
	11	就活キックオフ・(履歴書提出)	29	最終報告会		
	12	卒後VISION(コンテスト7/25/26)	30	最終報告会		
	13	企業人講話	31	1年振り返り		
	14	企業人講話	32	1年振り返り		
	15	卒後VISION書き直し	33	金曜日のみ)インターンシップについて		
	16	中間報告会	34	金曜日のみ)インターンシップについて		
	17	水曜日のみ)インターンシップについて	35	まとめ		
18	水曜日のみ)インターンシップについて	36	まとめ			
成績割合	テスト	0%	学習FB方法	提出された卒後VISIONと各課題への評価		
	学習態度・出席率	30% (授業態度と課題の提出)				
	レポート	70% (卒後VISIONの提出)	成績評価	S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点 以下は不合格		
	合計	100%				
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>40% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>10%					
講師プロフィール	キャリアセンタースタッフが授業をコーディネートし、授業内容に合わせた外部講師を招聘する。					

シラバス

科目名	日本語演習 I (N1)		担当者名	楊 陽、岡崎 志織		
学 科			授業方法	講義		
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	選択	授業時間数	72時間	
授業目的	授業に必要とされる日本語の知識や理解力、会話力を深め、N1試験合格を目指す。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	12月に行われるJLPT N1の合格を目指す。					
授業概要	教科書に従って授業を展開し、文法、漢字、意味、慣用句、オノマトペ、読解、会話等、授業に必要とされる日本語の知識や理解力を深め、JLPT N1レベルの学習者としてふさわしい日本語力を身につける。					
授業計画表	授業内容			授業内容		
	1	プレースメントテスト	19	日本語の読解及び文法17		
	2	オリエンテーション、日本語の読解及び文法1	20	日本語の読解及び文法18		
	3	日本語の読解及び文法2	21	日本語の読解及び文法 19		
	4	日本語の読解及び文法3	22	日本語の読解及び文法 20		
	5	日本語の読解及び文法4	23	日本語の読解及び文法 21		
	6	日本語の読解及び文法5	24	日本語の読解及び文法 22		
	7	日本語の読解及び文法6	25	日本語の読解及び文法23		
	8	日本語の読解及び文法7	26	日本語の読解及び文法24		
	9	日本語の読解及び文法8	27	日本語の読解及び文法25		
	10	日本語の読解及び文法9	28	日本語の読解及び文法26		
	11	日本語の読解及び文法10	29	日本語の読解及び文法27		
	12	日本語の読解及び文法11	30	日本語の読解及び文法28		
	13	日本語の読解及び文法12	31	日本語の読解及び文法 29		
	14	前期末試験	32	日本語の読解及び文法 30		
	15	日本語の読解及び文法13	33	日本語の読解及び文法 31		
	16	日本語の読解及び文法14	34	日本語の読解及び文法 32		
	17	日本語の読解及び文法15	35	学年末試験		
	18	日本語の読解及び文法16	36	試験返却、解説		
成績割合	テスト	60%	学習FB方法	定期的なまとめテストにてフィードバック		
	学習態度・出席率	30%				
	レポート	小テスト10%	成績評価	出席率80%以上 S=100～90点、A=89～80点、B=79～70点、C=69～60点、D=59		
	合計	100%				
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>100% R<<実働実践型学習>>0% A<<主体的参加型学習>>0% G<<海外体感型学習>>0%					
講師プロフィール	大学卒業後、日本航空 国際線に7年間勤務 在米6年 在独2年 日本語教師資格所有 米カリフォルニア大学にて英語教員免許(TESL)取得 日米の教員免許を所有 長い海外経験から、外国人留学生の立場に立ったわかりやすい日本語の授業を心がけています。					

シラバス

科目名	日本語演習 I (N2)		担当者名	楊 陽、岡崎 志織	
学 科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	選択	授業時間数	72時間
授業目的	授業に必要とされる日本語の知識や理解力、会話力を深め、N2 試験合格を目指す。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	12月に行われるJLPT N2の合格を目指す。				
授業概要	教科書に従って授業を展開し、文法、漢字、意味、慣用句、オノマトペ、読解、会話等、授業に必要とされる日本語の知識や理解力を深め、JLPT N2レベルの学習者としてふさわしい日本語力を身につける。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	プレースメントテスト	19	日本語の読解及び文法16	
	2	オリエンテーション/日本語の読解及び文法1	20	日本語の読解及び文法17	
	3	日本語の読解及び文法 1	21	日本語の読解及び文法18	
	4	日本語の読解及び文法 2	22	日本語の読解及び文法19	
	5	日本語の読解及び文法 3	23	日本語の読解及び文法 20	
	6	日本語の読解及び文法 4	24	日本語の読解及び文法 21	
	7	日本語の読解及び文法 5	25	日本語の読解及び文法 22	
	8	日本語の読解及び文法 6	26	日本語の読解及び文法 23	
	9	日本語の読解及び文法 7	27	日本語の読解及び文法24	
	10	日本語の読解及び文法 8	28	日本語の読解及び文法25	
	11	日本語の読解及び文法 9	29	日本語の読解及び文法26	
	12	日本語の読解及び文法 10	30	日本語の読解及び文法27	
	13	日本語の読解及び文法 11	31	日本語の読解及び文法28	
	14	前期末試験	32	日本語の読解及び文法29	
	15	日本語の読解及び文法12	33	日本語の読解及び文法 30	
	16	日本語の読解及び文法13	34	日本語の読解及び文法 31	
	17	日本語の読解及び文法14	35	学年末試験	
18	日本語の読解及び文法15	36	試験返却、解説		
成績割合	テスト	60%	学習FB方法	まとめテストの後にフィードバック	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	小テスト10%	成績評価	出席率80%以上 S=100~90点、A=89~80点、B=79~70点、C=69~60点、D=59	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>100% R<<実働実践型学習>>0% A<<主体的参加型学習>>0% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	大学卒業後、日本航空 国際線に7年間勤務 在米6年 在独2年 日本語教師資格所有、米カリフォルニア大学にて英語教員免許【TESL】取得、日米の教員免許所有 長い海外経験から外国人留学生の立場に立った、わかりやすい日本語の授業を心がけています。				

シラバス

科目名	大学支援 総合 I		担当者名	榎村 麻里子		
学 科			授業方法	講義		
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	選択	授業時間数	72時間	
授業目的	産業能率大学の履修科目を併修するためのサポート講義					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	産業能率大学の1年次履修科目について理解を深める					
授業概要	産業能率大学で1年次に履修する科目の重要ポイントを学習し、レポート・科目習得試験に向けての準備を行う					
授業計画表	授業内容			授業内容		
	1	ガイダンス	19	企画力を強化する		
	2	ガイダンス	20	考える力をつける		
	3	社会人の常識とマナー	21	考える力をつける		
	4	社会人の常識とマナー	22	考える力をつける		
	5	社会人の常識とマナー	23	考える力をつける		
	6	ビジネス文書&メールの書き方	24	考える力をつける		
	7	ビジネス文書&メールの書き方	25	コミュニケーション論		
	8	ビジネス文書&メールの書き方	26	コミュニケーション論		
	9	ビジネス文書&メールの書き方	27	コミュニケーション論		
	10	情報分析力を鍛える	28	コミュニケーション論		
	11	情報分析力を鍛える	29	コミュニケーション論		
	12	情報分析力を鍛える	30	自由が丘とブランディング		
	13	情報分析力を鍛える	31	自由が丘とブランディング		
	14	情報分析力を鍛える	32	自由が丘とブランディング		
	15	企画力を強化する	33	自由が丘とブランディング		
	16	企画力を強化する	34			
	17	企画力を強化する	35			
	18	企画力を強化する	36			
成績割合	テスト	30%	学習FB方法	前期末試験および後期末試験の評価結果をそれぞれ学生にFBする		
	学習態度・出席率	30%				
	レポート	20%	成績評価	前期末試験、後期末試験の評価点の平均値を年度末の評価点とする。テクノスで定めた相対評価により評価点の補正を行う。		
	合計	100%				
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>0%					
講師プロフィール	コンピュータ会社勤務を経て、大学・短大・専門学校で非常勤講師を務めている。 現在まで10年間産業能率大学の通学、通信講座で非常勤講師を兼任している。 産業能率大学では、マーケティング、マネジメント領域の科目を7科目担当し、スクーリング、対面、レポート添削を行っている。					

シラバス

科目名	大学支援 総合 I		担当者名	吉田 緑	
学 科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	選択	授業時間数	72時間
授業目的	本科目は中央大学法学部通信教育課程の編入を目指す学生等に課せられたレポート課題対策および法律学習の支援を目的とする。対象科目は憲法、民法(債権総論、債権各論)、刑法(総論)である。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	①レポートを提出し、実際に合格させること ②法律学習に限らず「自分のことば」を用いて文章で説明できるようにすることを目標とする。				
授業概要	①法律を学ぶにあたって必要な思考方法、②教科書を含む文献や裁判例の読み方、③リサーチ方法、④レポートを書く際の作法、⑤レポートの題意の読み解き方等を学ぶ。 スクーリングや試験、受講者の希望に合わせて授業内容が変わる場合もある。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19	民法:債権(総論・各論)基礎編	
	2	オリエンテーション	20	民法(債権総論):第1課題	
	3	オリエンテーション	21	民法(債権総論):第2課題	
	4	法律学習の基礎:①法体系②条文の読み方③教科書・基本書の読み方	22	民法(債権各論):第1課題	
	5	法律学習の基礎:①法体系②条文の読み方③教科書・基本書の読み方	23	民法(債権各論):第2課題	
	6	法律学習の基礎:①法体系②条文の読み方③教科書・基本書の読み方	24	憲法:基礎編	
	7	法律学習の基礎:①法体系②条文の読み方③教科書・基本書の読み方	25	憲法:基礎編	
	8	レポートの書き方	26	憲法:第1課題	
	9	レポートの書き方	27	憲法:第2課題	
	10	刑法:基礎編	28	残りの課題	
	11	刑法:基礎編	29	残りの課題	
	12	刑法:基礎編	30	2年次に向けて一刑法各論・民法(総則・物権・親族法)ほかー	
	13	刑法:基礎編	31	2年次に向けて一刑法各論・民法(総則・物権・親族法)ほかー	
	14	刑法(総論):第1課題	32	2年次に向けて一刑法各論・民法(総則・物権・親族法)ほかー	
	15	刑法(総論):第2課題	33	2年次に向けて一刑法各論・民法(総則・物権・親族法)ほかー	
	16	民法:基礎編	34	まとめ	
	17	民法:基礎編	35	まとめ	
18	民法:債権(総論・各論)基礎編	36	まとめ		
成績割合	テスト	0%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	80%			
	レポート	20%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89点 B70~79点 C60~69点	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>100% R<実働実践型学習>10% A<主体的参加型学習>60% G<海外体感型学習>0%				
講師プロフィール	他大学他学部より中央大学法学部通信教育課程に2年次編入し、同課程卒業。中央大学通信教育部インストラクター。専門は刑事政策・犯罪学。他専門学校・大学等でも講師(憲法、刑事政策、犯罪学等)を務める。元インターネットニュースメディア記者でもある。				

シラバス

科目名	大学支援 総合 I		担当者名	高木 佳子	
学 科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	選択	授業時間数	72時間
授業目的	国文学の専門知識の習得とともに、各科目の単位修得におけるレポート作成の技術の習得も目指していく。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	古代から近代に至る日本文学の各ジャンルにおける専門的知識と課題を把握し、日本大学の各科目試験の単位修得に必要な知識を身につけていく。				
授業概要	日本大学における「国文学基礎講義」、「国文学概論」、「国文学講義(上代)」の3教科の単位修得に必要な、各科目ごとの2つのレポート提出について、提出期限を把握し、科目修得試験に向けて、計画的に進めていく。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	授業オリエンテーション 1年次履修科目について 履修科目のレポート課題提出について	19	「国文学概論」 課題1 レポート作成に向けて	
	2	授業オリエンテーション 履修科目の試験、および過去問について	20	「国文学概論」 課題1 レポート作成	
	3	授業オリエンテーション 国文学科目概要・講義概説	21	「国文学概論」 古代歌謡とは	
	4	「国文学基礎講義」レポート課題概説 レポート作成に向けて	22	「国文学概論」 歌謡と和歌	
	5	「国文学基礎講義」万葉集	23	「国文学概論」 口誦歌謡と記載和歌	
	6	「国文学基礎講義」『万葉集』について	24	「国文学概論」 課題2 レポート作成に向けて	
	7	「国文学基礎講義」『万葉集』の四季の歌	25	「国文学概論」 課題2 レポート作成	
	8	「国文学基礎講義」『万葉集』日本的な自然観	26	「国文学講義」I(上代)『万葉集』について	
	9	「国文学基礎講義」課題1 レポート作成に向けて	27	『万葉集』の宴席歌について	
	10	「国文学基礎講義」課題1 レポート作成	28	『万葉集』巻八(1581～1591)の宴席歌群について	
	11	「国文学基礎講義」歌謡とは	29	『万葉集』巻八の宴席歌群(1581～1591)の内容および構成について	
	12	「国文学基礎講義」記紀歌謡	30	『国文学講義』I(上代) レポート課題1の作成	
	13	国文学基礎講義『古事記』における歌謡	31	『万葉集』 大伴坂上郎女の歌	
	14	国文学基礎講義『日本書紀』における歌謡	32	『万葉集』 テキスト以外にみえる大伴坂上郎女の歌の内容、特徴	
	15	国文学基礎講義 課題2 レポート作成に向けて	33	『国文学講義』I(上代) レポート課題2の作成	
	16	国文学基礎講義 課題2 レポート作成	34	『国文学講義』I(上代) レポート課題の提出に向けて	
	17	「国文学概論」『古事記』における古記録「序文」	35	授業まとめ／振り返り	
	18	「国文学概論」『古事記』 大和朝廷における政治的支配および時代背景	36	授業まとめ／振り返り	
成績割合	テスト	40%	学習FB方法	前期・後期 答案返却	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	30%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点、A80～89点、B70～79点、C60～69点、D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>30% R<実働実践型学習>30% A<主体的参加型学習>30% G<海外体感型学習>10%				
講師プロフィール	元昭和女子大学准教授(日本古典文学 和歌文学)				

シラバス

科目名	一般常識 I		担当者名	松木 芳文	
学 科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	選択	授業時間数	36時間
授業目的	社会で必須となる一般常識を、数学・国語・社会の面からスキルアップする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	数学 高校数学までの単元の中で、社会人として生活するに当たり必要と思われる知識と論理的思考能力を養う。 国語 コミュニケーションに欠かせない国語の基本的な知識や教養を習得する。 社会 社会生活に必要な地歴公民の基本的な知識や教養を習得する。				
授業概要	数学 必要不可欠な知識を盛り込んだオリジナルテキストを使用し、数学の苦手意識を解消してゆく。 国語 漢字の読み書きを基本として、慣用句、ことわざや敬語の習得と世界文学や日本文学常識を身に着ける。 社会 日本地理・世界地理、日本史・世界史、思想・文化など広い範囲の知識・教養を幅広く身に着ける。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	数学1 「一般常識 数学」オリエンテーション	19	国語・社会1 「一般常識 国語・社会」オリエンテーション	
	2	数学2 数の計算	20	国語・社会2 漢字一字の読み	
	3	数学3 式の計算	21	国語・社会3 二字熟語の読み	
	4	数学4 因数分解	22	国語・社会4 慣用語の読み	
	5	数学5 平方根	23	国語・社会5 常用漢字外の読み	
	6	数学6 1次方程式	24	国語・社会6 漢字一字の書き取り	
	7	数学7 連立方程式	25	国語・社会7 二字熟語の書き取り	
	8	数学8 2次方程式	26	国語・社会8 同訓異字の書き取り	
	9	数学9 不等式	27	国語・社会9 同音異義語の書き取り	
	10	数学10 前期成績判定テスト1	28	国語・社会10 対義語・類義語の書き取り	
	11	数学11 数と量の文章問題1	29	国語・社会11 世界史	
	12	数学12 数と量の文章問題2	30	国語・社会12 日本史	
	13	数学13 割合の文章問題1	31	国語・社会13 思想・社会・文化	
	14	数学14 割合の文章問題2	32	国語・社会14 成績判定テスト	
	15	数学15 速さの文章問題	33	総復習①	
	16	数学16 前期成績判定テスト	34	総復習②	
	17	数学17 規則性などの文章問題	35	総復習③	
	18	数学18 まとめ	36	まとめ	
成績割合	テスト	80%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	20%			
	レポート		成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89点 B70～79点 C60～69点	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>100% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>100% G<<海外体感型学習>>30%				
講師プロフィール	慶応義塾大学経済学部。大手金融機関で金融全般のアドバイザー業務の傍ら、海外での銀行設立業務にも参画する。他、数学、英語、国語、社会の講師を勤める。				

シラバス

科目名	キャリア開発Ⅱ		担当者名	葛原 加奈子、宮鍋 涼、沼田 かな子、山本 友梨香、野上 伴睦、井上 一輝		
学 科			授業方法	講義		
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	選択	授 業 時 間 数	36時間	
授業目的	卒後VISIONに磨きをかけ解像度を上げる。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	授業開始時の卒後VISIONの評価と授業終了時の卒後VISIONの評価を比較し、評価がランクアップをしていること。					
授業概要	学修&就活成果を最大化。卒後visionに基づく学修&就活PDCAを実践学習。					
授 業 計 画 表	授 業 内 容			授 業 内 容		
	1	オリエンテーション	19	オリエンテーション		
	2	自分らしさの軸を確認	20	改善計画の立案		
	3	業界・仕事の変化を探究	21	課題の体系化・仮説と検証		
	4	卒後VISIONを描き直す	22	学修機会の活用(テクノス祭)		
	5	社会人基礎力特別講座	23	(テクノス祭)		
	6	PDCAサイクルとは	24	計画の実行度を評価		
	7	学修目標と就活目標の設定	25	目標に対する改善計画		
	8	目標に対する計画立案	26	課題の体系化・仮説と検証		
	9	学修機会の活用(IV)	27	就活(インターンシップ)		
	10	計画の実行度を評価	28	就活(インターンシップ)		
	11	目標に対する改善計画	29	12月キャリア支援プログラム		
	12	就活(インターンシップ)	30	12月キャリア支援プログラム		
	13	社会人基礎力特別講座	31	最終報告		
	14	7月キャリア支援プログラム	32	最終報告		
	15	前期の学修と就活の振り返り	33	最終報告		
	16	中間報告会	34	卒後VISION提出		
	17	中間報告会	35	2月キャリア支援プログラム		
	18	中間報告会	36	2月キャリア支援プログラム		
成績割合	テスト	0%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付 提出された卒後VISIONと各課題への評価。就活状況モニタリング。		
	学習態度・出席率	30%(課題の提出と就活モニタリング)				
	レポート	70%(卒後VISIONの提出)	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89点 B70~79点 C60~69点		
	合計	100%				
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>40% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体験型学習>>10%					
講師プロフィール	キャリアセンタースタッフが授業をコーディネートし、授業内容に合わせた外部講師を招聘する。					

シラバス

科目名	一般常識Ⅱ		担当者名	松木 芳文	
学 科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	選択	授業時間数	36時間
授業目的	社会で必須となる一般常識を、数学・国語・社会の面からスキルアップする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	数学 高校数学までの単元の中で、社会人として生活するに当たり必要と思われる知識と論理的思考能力を養う。 国語 コミュニケーションに欠かせない国語の基本的な知識や教養を習得する。 社会 社会生活に必要な地歴公民の基本的な知識や教養を習得する。				
授業概要	数学 必要不可欠な知識を盛り込んだオリジナルテキストを使用し、数学の苦手意識を解消してゆく。 国語 漢字の読み書きを基本として、慣用句、ことわざや敬語の習得と世界文学や日本文学常識を身に着ける。 社会 日本地理・世界地理、日本史・世界史、思想・文化など広い範囲の知識・教養を幅広く身に着ける。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	数学1 「一般常識 数学」オリエンテーション	19	国語・社会1 「一般常識 国語・社会」オリエンテーション	
	2	数学2 数の計算	20	国語・社会2 漢字一字の読み	
	3	数学3 式の計算	21	国語・社会3 二字熟語の読み	
	4	数学4 因数分解	22	国語・社会4 慣用語の読み	
	5	数学5 平方根	23	国語・社会5 常用漢字外の読み	
	6	数学6 1次方程式	24	国語・社会6 漢字一字の書き取り	
	7	数学7 連立方程式	25	国語・社会7 二字熟語の書き取り	
	8	数学8 2次方程式	26	国語・社会8 同訓異字の書き取り	
	9	数学9 不等式	27	国語・社会9 同音異義語の書き取り	
	10	数学10 前期成績判定テスト1	28	国語・社会10 対義語・類義語の書き取り	
	11	数学11 数と量の文章問題1	29	国語・社会11 世界史	
	12	数学12 数と量の文章問題2	30	国語・社会12 日本史	
	13	数学13 割合の文章問題1	31	国語・社会13 思想・社会・文化	
	14	数学14 割合の文章問題2	32	国語・社会14 成績判定テスト	
	15	数学15 速さの文章問題1	33	総復習	
	16	数学16 前期成績判定テスト	34	まとめ	
	17	数学17 規則性などの文章問題	35	まとめ	
	18	数学18 まとめ	36	まとめ	
成績割合	テスト	数学 80% 国語・社会 80%		学習FB方法	前期・後期 成績表送付
	学習態度・出席率	数学 20% (確認テストと出席) 国語・社会 20% (確認テストと出席)			
	レポート	なし		成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89点 B70～79点 C60～69点
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>100% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>100% G<<海外体験型学習>>30%				
講師プロフィール	慶応義塾大学経済学部。大手金融機関で金融全般のアドバイザー業務の傍ら、海外での銀行設立業務にも参画する。他、数学、英語、国語、社会の講師を勤める。				

シラバス

科目名	大学支援 総合Ⅱ		担当者名	若林 芳勝	
学 科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開講期 必・選	選択	授業時間数	72時間
授業目的	産業能率大学通信教育課程の基礎・専門科目(全8科目)の単位修得に必要な学習支援を行う。 その際、経営的視点を養い、主に経営・マネジメントに関する基礎的な部分を理解することを重視する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	産能大のレポート・科目修得試験への取り組み方の基本を学び、経営・マネジメントの基礎・専門科目を総合的に学びながら単位修得を目指す。				
授業概要	大学所定教材テキストの要点を解説し、レポート課題の作成指導を行った上、大学科目修得試験合格に必要な受験対策を実施する。 前期・後期の単位修得科目は、主に以下を予定しています。 〔前期〕4科目:「企業家に学ぶ経営」「ストリートファッション論」「地域コミュニティ活動と社会貢献」「スポーツに学ぶチームマネジメント」 〔後期〕4科目:「ビジネス倫理」「人間関係の心理学」「チームマネジメント論」「リーダーシップ論」				
授業計画表		授業内容			授業内容
	1	オリエンテーション		19	講義
	2	オリエンテーション		20	講義
	3	講義		21	講義
	4	講義		22	講義
	5	講義		23	講義
	6	講義		24	講義
	7	講義		25	講義
	8	講義		26	講義
	9	講義		27	講義
	10	講義		28	講義
	11	講義		29	講義
	12	講義		30	講義
	13	講義		31	講義
	14	講義		32	講義
	15	講義		33	講義
	16	講義		34	講義
	17	定期試験に向けて総まとめ		35	定期試験に向けて総まとめ
18	定期試験に向けて総まとめ		36	定期試験に向けて総まとめ	
成績割合	テスト	60%		学習FB方法	授業中に随時フィードバックを行います。
	学習態度・出席率	40%			
	レポート			成績評価	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>> R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>> G<<海外体験型学習>>				
講師プロフィール	経営・マネジメントの知識は社会に出てから必ず必要になります。一緒に学習しましょう。				

シラバス

科目名	大学支援 総合Ⅱ		担当者名	宮坂 友造	
学 科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開講期 必・選	選択	授業時間数	72時間
授業目的	この講義は中央大学通信教育部の単位取得を目指し学習する授業となります。対象科目は、民法1(総則)、民法2(物権)、民法5(親族・相続)、刑法各論となります。これらの科目についての基礎知識、また単位取得のために必要なレポート作成の仕方を習得することを目的とします。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	第一の目標は中央大学の単位取得となります。また、その過程で法的知識の習得、法の解釈の仕方、事例問題の解決力等を身につけることも目標とします。				
授業概要	民法1、民法2、民法5、刑法各論のレポート課題につき、論点の正確な把握、論文の構成の仕方、また関連する判例の読み方を学んでいきます。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション①	19	刑法各論第2課題の解説②	
	2	オリエンテーション②	20	民法1第3課題の解説①	
	3	オリエンテーション③	21	民法1第3課題の解説②	
	4	民法2第1課題の解説	22	民法1第1課題の解説①	
	5	民法2第2課題の解説	23	民法1第1課題の解説②	
	6	民法1第2課題の解説①	24	民法2第3課題の解説①	
	7	民法1第2課題の解説②	25	民法2第3課題の解説②	
	8	民法1第4課題の解説①	26	民法2第4課題の解説①	
	9	民法1第4課題の解説②	27	民法2第4課題の解説②	
	10	民法2第2課題の解説①	28	民法5第3課題の解説①	
	11	民法2第2課題の解説②	29	民法5第3課題の解説②	
	12	民法5第1課題の解説①	30	民法5第4課題の解説	
	13	民法5第1課題の解説②	31	刑法各論第3課題の解説①	
	14	民法5第2課題の解説①	32	刑法各論第3課題の解説②	
	15	民法5第2課題の解説②	33	刑法各論第4課題の解説	
	16	刑法各論第1課題の解説①	34	まとめ①	
	17	刑法各論第1課題の解説②	35	まとめ②	
18	刑法各論第2課題の解説①	36	まとめ③		
成績割合	テスト	0%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	70%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89点 B70～79点 C60～69点	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>100% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>5%				
講師プロフィール	中央大学通信教育部インストラクター 行政書士試験合格、専門学校・大学で15年以上の講師歴あり				

シラバス

科目名	大学支援 総合Ⅱ		担当者名	月本 直子		
学 科			授業方法	講義		
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開講期 必・選	選択	授業時間数	72時間	
授業目的	「国文学史Ⅰ」では日本文学史に特徴的な構造を理解し、歴史の流れの中における文学の位置づけを理解する。「国語学概論」では日本語学の多彩な研究領域及びその周辺の領域に関する知識を身に付ける。「国文学史Ⅱ」では日本の近現代文学史の流れについて学び、主たる作家の文学史的意味付けを理解する。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	日本大学通信教育部における「国文学史Ⅰ」「国語学概論」「国文学史Ⅱ」の三科目に関するレポート課題の合格及び科目修得試験の合格を見込める力を付ける。					
授業概要	いずれの科目も講義形式を中心として行う。理解の助けとして教科書内容に即したプリントを適宜使用しつつ力を付けていく。また、科目ごとに約2000字のレポート二編が課題となっているので、それらを作成するため筋道を立てて文章をまとめる技術も習得する。					
授業計画表	授業内容			授業内容		
	1	講義概要説明	19	国語学概論 「文章と文体」		
	2	国文学史Ⅰ 「日記と随筆」	20	国語学概論 「敬語」		
	3	国文学史Ⅰ レポート作成	21	国語学概論 「日本語教育」		
	4	国文学史Ⅰ 和歌	22	国語学概論 「心理言語学」		
	5	国文学史Ⅰ レポート作成	23	レポート作成		
	6	国文学史Ⅰ 上代の文学概観	24	国文学史Ⅱ 「文明開化と『文学』の変容」		
	7	国文学史Ⅰ 「上代の文学 神話・伝説・説話」	25	国文学史Ⅱ 「明治中期の小説」		
	8	国文学史Ⅰ 中古の文学概観	26	国文学史Ⅱ 「自然主義文学」		
	9	国文学史Ⅰ 「中古の文学 物語の発生と展開」	27	国文学史Ⅱ 「漱石と鷗外」		
	10	国文学史Ⅰ 「中古の文学 説話集と歴史物語」	28	国文学史Ⅱ 「耽美派」		
	11	国文学史Ⅰ 中世の文学概観	29	国文学史Ⅱ 「白樺派」		
	12	国文学史Ⅰ 「中世の文学 和歌」	30	国文学史Ⅱ 「『新思潮』と大正期教養主義」		
	13	国語学概論 概要説明	31	国文学史Ⅱ 「プロレタリア文学」		
	14	国語学概論 「音声と音韻」	32	国文学史Ⅱ 「新感覚派」		
	15	国語学概論 「音声と音韻」	33	国文学史Ⅱ 「戦後文学」		
	16	レポート作成に向けて	34	まとめ		
	17	国語学概論 「意味」	35	まとめ		
18	国語学概論 「意味」	36	まとめ			
成績割合	テスト	70%	学習FB方法	答案返却時に解説をする。		
	学習態度・出席率	30%				
	レポート		成績評価	出席率80%以上 S 90~100 A 80~89 B 70~79 C 60~69 D 59点以下不合格		
	合計	100%				
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>70% R<<実働実践型学習>>60% A<<主体的参加型学習>>80% G<<海外体感型学習>>20%					
講師プロフィール	都内の中高一貫女子校で専任教員及び講師として約40年間国語を担当した経験を持つ。					

シラバス

科目名	日本語演習Ⅱ(N1)		担当者名	楊 陽、岡崎 志織	
学 科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開講期 必・選	選択	授業時間数	72時間
授業目的	授業に必要とされる日本語の知識や理解力、会話力を深め、N1試験合格を目指す。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	12月に行われるJLPT N1の合格を目指す。				
授業概要	教科書に従って授業を展開し、文法、漢字、意味、慣用句、オノマトペ、読解、会話等、授業に必要とされる日本語の知識や理解力を深め、JLPT N1レベルの学習者としてふさわしい日本語力を身につける。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	プレースメントテスト	19	日本語の読解及び文法17	
	2	オリエンテーション 日本語の読解及び文法1	20	日本語の読解及び文法18	
	3	日本語の読解及び文法 2	21	日本語の読解及び文法19	
	4	日本語の読解及び文法 3	22	日本語の読解及び文法 20	
	5	日本語の読解及び文法 4	23	日本語の読解及び文法 21	
	6	日本語の読解及び文法 5	24	日本語の読解及び文法 22	
	7	日本語の読解及び文法 6	25	日本語の読解及び文法 23	
	8	日本語の読解及び文法 7	26	日本語の読解及び文法 24	
	9	日本語の読解及び文法 8	27	日本語の読解及び文法 25	
	10	日本語の読解及び文法 9	28	日本語の読解及び文法 26	
	11	日本語の読解及び文法 10	29	日本語の読解及び文法 27	
	12	日本語の読解及び文法 11	30	日本語の読解及び文法 28	
	13	日本語の読解及び文法 12	31	日本語の読解及び文法 29	
	14	日本語の読解及び文法 13	32	日本語の読解及び文法 30	
	15	日本語の読解及び文法 14	33	日本語の読解及び文法 31	
	16	前期末試験	34	日本語の読解及び文法 32	
	17	日本語の読解及び文法 15	35	学年末試験	
	18	日本語の読解及び文法16	36	試験返却、解説、総復習	
成績割合	テスト	60%	学習FB方法	定期的なまとめテストにてフィードバック	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	10%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>100% R<<実働実践型学習>>0% A<<主体的参加型学習>>0% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	大学卒業後、日本航空 国際線に7年間勤務 在米6年 在独2年 日本語教師資格所有 米カリフォルニア大学にて英語教員免許(TESL)取得 日米の教員免許を所有 長い海外経験から、外国人留学生の立場に立ったわかりやすい日本語の授業を心がけています。				

シラバス

科目名	日本語演習Ⅱ(N2)		担当者名	楊 陽、岡崎 志織	
学 科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開講期 必・選	選択	授業時間数	72時間
授業目的	授業に必要とされる日本語の知識や理解力、会話力を深め、N2 試験合格を目指す。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	12月に行われるJLPT N2の合格を目指す。				
授業概要	教科書に従って授業を展開し、文法、漢字、意味、慣用句、オノマトペ、読解、会話等、授業に必要とされる日本語の知識や理解力を深め、JLPT N2レベルの学習者としてふさわしい日本語力を身につける。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	プレースメントテスト	19	日本語の読解及び文法 17	
	2	オリエンテーション 日本語の読解及び文法1	20	日本語の読解及び文法18	
	3	日本語の読解及び文法 2	21	日本語の読解及び文法19	
	4	日本語の読解及び文法 3	22	日本語の読解及び文法 20	
	5	日本語の読解及び文法 4	23	日本語の読解及び文法 21	
	6	日本語の読解及び文法 5	24	日本語の読解及び文法 22	
	7	日本語の読解及び文法 6	25	日本語の読解及び文法 23	
	8	日本語の読解及び文法 7	26	日本語の読解及び文法 24	
	9	日本語の読解及び文法 8	27	日本語の読解及び文法25	
	10	日本語の読解及び文法 9	28	日本語の読解及び文法26	
	11	日本語の読解及び文法 10	29	日本語の読解及び文法27	
	12	日本語の読解及び文法 11	30	日本語の読解及び文法28	
	13	日本語の読解及び文法 12	31	日本語の読解及び文法29	
	14	日本語の読解及び文法 13	32	日本語の読解及び文法 30	
	15	日本語の読解及び文法 14	33	日本語の読解及び文法 31	
	16	前期末試験	34	日本語の読解及び文法 32	
	17	日本語の読解及び文法 15	35	学年末試験	
18	日本語の読解及び文法 16	36	試験編みゃky、解説、総復習		
成績割合	テスト	60%	学習FB方法	定期的なまとめテストにてフィードバック	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	10%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>100% R<<実働実践型学習>>0% A<<主体的参加型学習>>0% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	大学卒業後、日本航空 国際線に7年間勤務 在米6年 在独2年 日本語教師資格所有 米カリフォルニア大学にて英語教員免許(TESL)取得 日米の教員免許を所有 長い海外経験から、外国人留学生の立場に立ったわかりやすい日本語の授業を心がけています。				